



# 20<sup>th</sup> Anniversary

## JAいるま野合併20周年記念誌

地域と歩んだ20年 豊かな未来を育てます

1996-2016



# JAいるま野合併20周年記念誌

地域と歩んだ20年 豊かな未来を育てます



# 目次 Contents

- 01. ごあいさつ
- 02. 祝辞
- 04. 20周年記念事業
- 08. Column① 〈JAいるま野本店の変遷〉
- 09. 地域特性
  - 10. 誕生・概況 / 11. 伝統文化と景勝地
- 13. 20年のあゆみ
- 28. Column② 〈JAいるま野の直売所〉
- 29. 組織概要
  - 30. 組合機構図 / 32. 組織活動 / 34. 歴代役員名簿
- 39. 各事業データ
  - 40. 資料 / 主要事業実績の推移
  - 42. 資料 / 主要な各事業利益の推移 / 収支構造と配当金の推移
  - 44. 資料 / 組合員数の推移 / 理事・監事・職員・支店数の推移
- 46. Column③ 〈「とれ蔵」がJAいるま野の魅力を発信中!〉



## JAいるま野20周年 シンボルマーク

大地と水・空、外径で太陽を表し、いるま野のロゴマークを「種」と見立て、JAいるま野誕生と20周年のイメージを表現しました。





いるま野農業協同組合  
代表理事組合長

宮岡 宏太郎

「人に優しい豊かな地域社会を目指して」

## JAいるま野合併20周年を迎えて

いるま野農業協同組合は、平成8年4月1日に入間郡市11JAが新設合併して以来、20周年を迎えることとなりました。ここに長きにわたり当組合を支えていただきました組合員を始め、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

当時を顧みますと、平成3年10月に埼玉県農協大会にて「県内合併10農協構想」が決議され、これを受けて入間郡市JAで組織された「入間地方農協合併推進研究会」が発足いたしました。その後約4年間の協議を経て、平成8年1月に11JAにおける臨時総会により合併が可決決定され、同年4月のJAいるま野誕生に至りました。

当時の管内は総人口が約152万人（現在は約161万人）、総世帯数は約524,000戸（同702,000戸）であり、当時より首都圏の農産地として多彩な都市近郊農業が展開されておりました。そのような状況下において、農業を取り巻く環境が国際化、自由化、規制緩和等により大きく変動を始め、バブル崩壊による景気低迷と相まって、入間郡市JAが将来にわたり組合員の負託に応える事業機能を発揮し続けることが危惧される状況となりました。

これを受け入間郡市のJAが目指した広域合併は、健全で競争力のある経営基盤を確立し、組合員にとって魅力ある事業展開を可能とし、主体的にこれからの地域社会に貢献しようとするものでした。現在のJAいるま野が主要な事業として展開している大型直売所や米の直接買い入れ等は、まさに広域合併の先に実現したものと思われま。

昭和の時代から続いた安定成長期は終焉を迎え、合併前後からのいわゆる「失われた20年」と呼ばれる低成長期において今日まで成長し続けることができたことを顧みますと、様々なご意見のもとに「合併」という道を選択した当時の関係者の方々のご判断は正しかったと、20年の歳月を経て改めて確信しております。また同時に、この間の様々な環境変化の中でも変わらず

ご愛顧をいただきました組合員の皆様や、ご協力を賜りました県・市町・関係者の方々への感謝の念に堪えません。

現在、日本の農業はまさに大転換期を迎え、TPP問題をはじめ高齢化する組合員や担い手不足、耕作放棄地の拡大等、多くの課題を抱えております。

その一方で、成長戦略に向けた政府の「日本再興戦略」においては、地域経済の牽引役たりうる攻めの農林水産業を展開することが示されており、地域活性化を図るためには農業を成長産業化させていくことが非常に重要であるとされております。

このような中で、JAいるま野は昨今の「農協改革」の議論も踏まえ「第七次中期3ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）」を策定いたしました。①「農業者の所得増大」「農業生産拡大」への挑戦、②JA総合力発揮による地域活性化への貢献、これらを基本方針として位置付け、JAグループと一体となってこれからの10年を進んでまいります。

大型直売所を中心とした直売機会の拡大、量販店等へのインショップや直売コーナー、インターネット販売等、20年前と現在では販路の多様化は大きく広がりを見せており、共同販売の強化とともに販路拡大に向けた研究を今後も一層進め、多様化する新たな担い手ニーズに応えるための体制強化に取り組んでまいります。

今後の日本農業の成長産業化や6次化は、JAが開かれた協同組合としての性格を高める好機ととらえ、組合員と一体となり、また国や県・市町の皆様との十分な連携のもとに地域に根差した協同組合として農業と地域の振興に取り組んでまいります。これからも組合員ならびに地域の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年5月吉日



# 祝 辞



埼玉県知事 上田清司

## 「いるま野農業協同組合合併20周年に寄せて」

いるま野農業協同組合が合併20周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

組合員の皆様はもとより、宮岡宏太郎組合長をはじめとする役職員の方々の感慨もひとしおのことと御推察申し上げます。

いるま野農協は、平成8年4月に誕生し、人間地域全域を所管する広域農協として、現在では組合員数約8万8,000人を数える全国第10位の規模を誇る農協に発展されました。県内農協の全組合員数の4分の1を占める県下最大の農協として、JAグループさいたまを力強く牽引していただいております。

事業実績の面から見ても、平成26年度貯金高の1兆820億円は全国第7位、事業利益の28億2,870万円は全国第4位と、正に国内でも指折りの大規模農協となり、その存在感を余すところ無く発揮されておられます。全国屈指の農協が埼玉農業を担っていただいていることは誠に頼もしい限りです。

水田が広がる平地から丘陵、奥武蔵の山地までを含む人間地域では、水稲、野菜、果樹、畜産など多種多様な農産物が生産されています。特に埼玉の特産品の代名詞とも言える狭山茶の主産地でもあり、正に埼玉農業の要の地域となっています。

当地において、いるま野農協は、農産物の市場出荷にとどまらず、生産農家の所得安定と消費者への新鮮かつ安全な食材の供給のため、地産地消の推進に取り組んでおられます。また、県内農協では最多となる16店舗の直売所を運営し、とりわけ最近ではフードコート

併設の店舗や大規模商業施設へのアンテナショップ出店など、新たな顧客の獲得に向け、積極的な事業展開を図っておられます。

このように着実に実績をあげることができるのも、組合員の皆様の農協に対する厚い信頼と、組合長をはじめとする役職員の皆様の熱意と努力のたまものと存じます。今後とも積極的な事業展開により、いるま野農協の存在感を全国に示していただくことを御期待申し上げます。

最後に、合併20周年の喜ばしい本年が、いるま野農協の更なる繁栄の礎となるようお祈り申し上げて、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成28年5月吉日

# 祝 辞



JA埼玉県中央会・連合会  
会長

若林 龍司

## JAいるま野合併20周年に寄せて

青葉茂れる頃を迎え、四季の中でも緑が目  
に鮮やかな季節となりました。

この4月をもちまして、JAいるま野は合併20  
周年を迎えられました。誠におめでとうございます。

合併以来、JAいるま野とともに歩まれてこら  
れた組合員の皆様に、JA埼玉県中央会・連  
合会を代表して深く感謝申し上げますととも  
に、宮岡組合長をはじめとした歴代組合長並  
びに役職員皆様の20年の労苦に対しまして、  
衷心より敬意を表したいと存じます。

この20周年という佳節は、JAいるま野が積  
み重ねた貴重な歴史であるとともに、必ずや  
10年後の30周年、ひいては未来に向けての  
財産になるものと確信しております。

JAグループさいたまは、平成3年に開催し  
た「JA埼玉県大会」において、「埼玉県農協合  
併基本構想（10JA構想）」を決定しました。翌  
年の平成4年にいち早く郡一円のJA合併研  
究会を組織し検討に着手したのが、今のJA  
いるま野でした。

平成7年度末当時、埼玉県内には行政単位  
を中心に99JAが存在しておりましたが、この  
うち、平成8年4月にJAいるま野をはじめ、  
4JAが県内初の構想実現JAとして誕生し、現  
在では県内6JAが構想実現、JA数も平成7年  
度末当時の5分の1以下の16JAとなっております。まさに、JAいるま野は今日のJAグループ  
さいたまの礎を築いた存在であるとともに、今  
や全国トップクラスの事業規模を有し、組合  
員サービスの面においても全国有数の取組み

をされております。

こうした組合員の期待と信頼に着実に応  
え、役職員の不断の努力の積み重ねが、JAい  
るま野の今日を創りあげた原動力と拝察いた  
します。これからも、「地域と歩んだ20年」を土  
台として、更なる先を見つめ、「豊かな未来を  
育てて」いていただければと存じます。

さて、農業やJAを取り巻く環境は、合併当  
時と大きく様変わりしております。農業就業者  
の高齢化と世代交代等による担い手不足、さ  
らには、輸入農産物の増加や自然災害等によ  
り、農業の収益性が低下している状況にあり、  
さらには、60年ぶりとなる農協法改正がこの  
4月1日に実施され、JAは「農業所得の増大  
に最大限の配慮」をすることが規定されまし  
た。

JAグループさいたまは、昨年11月に開催  
したJA埼玉県大会において、「農業者の所得  
増大と地域の活性化に全力を尽くす」ことを  
柱とした「創造的自己改革への挑戦」を決議  
しました。JAいるま野におかれましても、持続  
可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会  
の実現に向け、自己改革を着実に実行し、組  
合員の期待と信頼に応えるJAづくりに邁進し  
ていただければと存じます。

結びに、JAいるま野の組合員、役職員皆様  
が益々のご多幸にてご活躍されますことと、  
JAいるま野の更なるご発展を祈念いたしまし  
て、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成28年5月吉日



# 20周年記念事業 2015.4~2016.3

JAIいるま野は、合併20周年を記念して、組合員や利用者の皆様へ感謝の思いを伝える交流イベントや特別キャンペーンを実施しました。

## 感謝の集い 五木ひろし&八代亜紀 ジョイントコンサート

(平成28年2月3日・4日・5日・24日・25日・3月14日)

川越市のウェスタ川越大ホールで2月3日・4日・5日・24日・25日、3月14日の6日間、「JAIいるま野合併20周年記念感謝の集い」を開催しました。歌謡ショーには、五木ひろしさんと八代亜紀さんを招き、1日2公演で計12公演開催し、約20,000人のお客様がジョイントコンサートを楽しみました。





# おかげさまで20周年

地域と歩んだ20年 豊かな未来を育てます



## JAいるま野 大盆踊り大会

(平成27年8月29日)

川越市下老袋の川越運動公園で8月29日、「合併20周年記念JAいるま野大盆踊り大会」を開催し、各地域の女性部員や組合員、地域住民の皆さん約2,000人が参加しました。

会場では、合併20周年を記念して制作した「JAいるま野音頭」の曲と踊りの初披露やプロの歌手が会場を盛り上げるなど、多くの人で賑わいました。提灯のあかりがともり始める頃には踊りも佳境を迎え、地元の「獅子若太鼓」による太鼓の音色に合わせて「JAいるま野音頭」や「ぱっくん音頭」など計6曲を楽しく踊りました。





# 20周年記念事業

## 資産管理組織連絡協議会記念セミナー

(平成28年1月19日)



JAいるま野資産管理組織連絡協議会は平成28年1月19日、狭山市民会館で「記念セミナー」を開催し、会員等約900人が参加しました。

同協議会の小川浩資会長は「資産管理組織の活動を通じて、少しでも会員皆さまの生活向上が図れ、スムーズな後継者対策が出来るよう、今後も積極的に活動していきます」と挨拶をしました。

第一部の法律セミナーでは、弁護士の草薙一郎氏が「円満な相続のために」、第二部では落語家の三遊亭円楽師匠が「笑いは心の栄養剤」と題して講演が行われました。

## アグリキッズツアー

(平成27年11月7日)

JAいるま野管内の小学生41人が参加し、アグリキッズツアーが行われました。子供たちは川越カントリーエレベーター、狭山共販センター、日高栗選果場を見学し、乳牛の乳搾りと里芋の株分け体験をしました。



## 直売所感謝祭

(平成27年11月21日・22日・23日)

全直売所を対象とした「JAいるま野スタンプラリー」を実施し、多数の来場者で賑わいました。



## 宝くじ付き定期貯金キャンペーン

(平成27年6月1日～8月31日の期間中販売)

20周年記念商品として、しっかり貯蓄しながら大きな夢に挑戦できる「年末ジャンボ宝くじ付き定期貯金」を販売致しました。

販売額は122億円となり、多くの方々にご契約頂きました。ご契約頂いた方は、今後3年間、年末ジャンボ宝くじの抽選をお楽しみ頂けます。



## こども料理コンクール

(平成28年2月21日)

女子栄養大学(坂戸市千代田)で2月21日、「合併20周年記念JAいるま野こども料理コンクール」を開催しました。

当日は書類審査を通過した児童15人が腕前を披露し、審査の結果、吉岡愛雛さん(川越市)の「開けてびっくり!里いも田楽」が最優秀賞に選ばれました。



# おかげさまで20周年

地域と歩んだ20年 豊かな未来を育てます



## 合併20周年コーポレートPRポスター

(ポスター掲示期間:平成27年4月~)

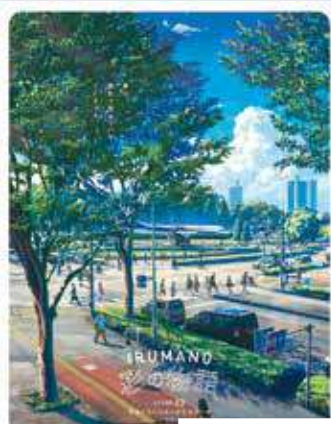
## チャリティーカレンダーを販売

(販売期間:平成27年10月~)

管内の見慣れた風景を題材にオリジナルポスターを製作しました。ポスター原画を使用したチャリティーカレンダーの売上は2,445,500円となり、全額を日本赤十字社の東日本大震災義援金として寄付致しました。



第1作目  
桜が舞う、  
ある朝の  
稲荷山



第2作目  
青葉が茂る、  
日本の  
航空発祥の地

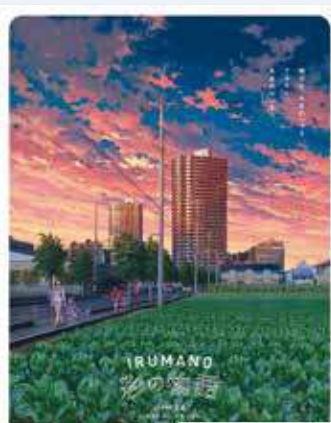


第3作目  
夏を迎えた、  
伊佐沼の田園



合併20周年記念  
“彩の物語”ポスターギャラリー  
—— 渡邊 丞氏が描く、いるま野の美しい風景 ——

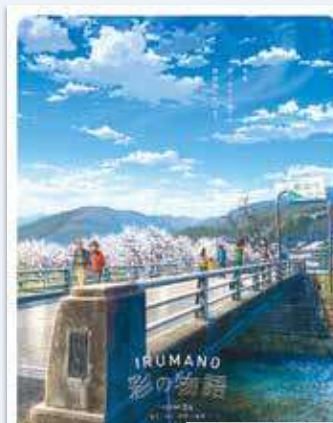
平成27年4月1日から2ヵ月ごとに、皆さまに馴染みのあるJAいるま野管内の風景が美しいポスターになり、当JAの各支店・施設を彩りました。



第4作目  
収穫期の畑と、  
夕暮れの街



第5作目  
紅く染まった  
子供の森公園



第6作目  
春をつげる、  
満開の梅林



※ポスター右下の写真は、原案となった風景です。



# Column①

JA IRUMANO 20th anniversary

JAいるま野本店の変遷

## 機能の充実、より身近な存在に JAいるま野本店の変遷

平成8年4月、川越市新宿町で産声をあげたJAいるま野は、当初より本店建設が望まれましたが、支店統廃合による支店強化の取り組みを急務として、支店新築を優先してきました。その後、建物の老朽化等により、平成18年5月に営農部門を除く本店機能を入間市小谷田の入間事業本部(旧JA入間市本店)建物に移転し、平成27年2月には分散していた本店機能を集約し、効率的な事業運営を進めることを目的に、川越市今成に現在の新店を建設・移転しました。



旧本店(合併当初)  
平成8年～平成18年  
所在地:川越市新宿町



旧本店  
平成18年～平成27年  
所在地:入間市小谷田



新本店  
平成27年～  
所在地:川越市今成



### ●新本店オープン

「小江戸川越」の蔵造りをイメージした地上5階建ての建物で、延べ床面積4,144平方メートル、太陽光発電設備を設け、LED照明の設置、高断熱ガラスの採用など環境に配慮した設計となっています。



事務室



1階の受付



**いるま野農業協同組合**

〒350-1105 埼玉県川越市今成 2-29-4  
TEL.049-224-1607(代) FAX.049-224-1617  
<http://www.ja-irumano.or.jp>

# 地 JAいるま野 域特性

JA IRUMANO 20th anniversary



# JAいるま野の地域特性

## JAいるま野の誕生

昭和22年に農業協同組合法が制定され、昭和23年には現在の管内に60のJAが誕生し、それぞれ事業を展開してきました。その後、昭和36年4月には農協合併助成法が制定され、組織再編が進行し、平成3年には、12JAまで統合されました。平成3年の埼玉県農協大会で県内10農協構想が決議され、同年11月入間地方農協広域合併推進研究会が組織され、調査、研究、分析等を行いました。

平成8年4月1日、11JA（川越市、霞ヶ関、入間東部、入間市、狭山市、坂戸市、鶴ヶ島、毛呂山町、越生町、埼玉日高、飯能市）が、「日本でいちばん輝いているJA」を目指して合併し、「いるま野農業協同組合」が誕生しました。

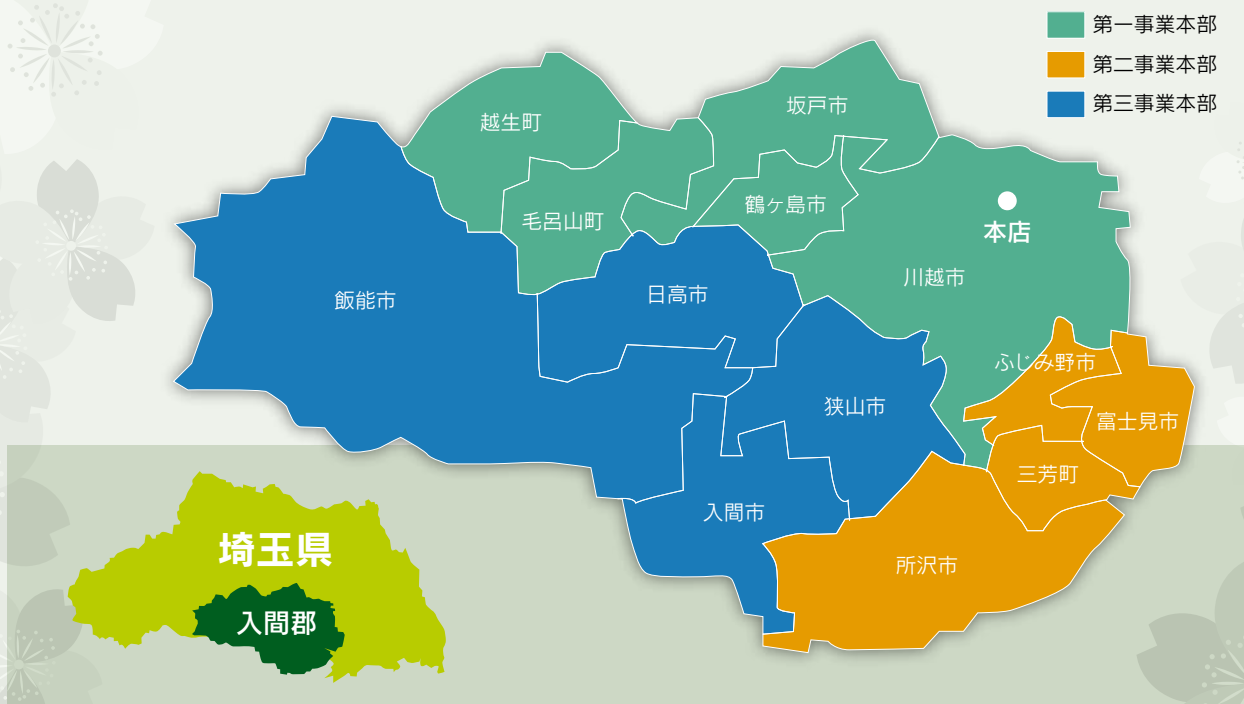
さらに、21世紀を迎えた平成13年4月2日には、JAいるま野はJA所沢市と合併し、新生「いるま野農業協同組合」として、輝かしい新時代へスタートしました。

## 地域の概況

JAいるま野は、県の南西部に位置し、都心から30～60kmの首都圏にあり、総土地面積は698.43km<sup>2</sup>と県内の約18.5%を占める地域を事業区域としております。この地域は、10市3町（川越市、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、三芳町、毛呂山町、越生町）からなっており、平成28年3月1日現在の総人口は約161万3千人、世帯数は約70万2千世帯となっております。

管内を概観すると、西部は、秩父山系に連なる山岳丘陵地帯で、ここを源として、越辺川、高麗川、入間川の河川が東流し荒川に合流しており、東部は、堆積された肥沃な水田地帯を形成しており、中部から南部にかけては、加治・狭山丘陵の入間洪積台地で畑地帯となっています。また、多くの遺跡、史跡、城下町の町なみや奥武蔵自然公園のような豊かな自然を有しており、県内はもとより首都圏の人々のオアシスとなっています。

## ●埼玉県でのJAいるま野の位置





# 伝統文化と景勝地

## 川越市

蔵造り／川越蔵造りは火災による類焼を防ぐための巧妙な耐火建築で、江戸の町家形式として発達しました。



## 鶴ヶ島市

「脚折雨乞」(すねおりあまごい)／4年毎に行われる行事で、国選択無形民俗文化財、鶴ヶ島市指定無形文化財に指定されています。



## 越生町

越生梅林／関東三大梅林の一つとして有名な越生梅林、2月下旬～3月下旬にかけて「梅まつり」が開催され、多くの観光客で賑わいます。



## 坂戸市

お釈迦様(永源寺)釈尊降誕祭／坂戸のお釈迦さまは、無病息災、家内安全、商売繁盛など、また、農家にとっては農繁期前の休暇を楽しみ、蚕の安全と養蚕の当たりを願う養蚕農家の祈願場でもありました。



## 毛呂山町

流鏝馬(やぶさめ)／埼玉県指定無形民俗文化財の「出雲伊波比神社のやぶさめ」は、11月3日の本祭りに華やかに正装した乗り子の少年(小学生～中学生)が、朝的(あさまとう)、夕的(ゆうまとう)、と馬上より弓を射る昔ながらの行事です。



## 富士見市

水子貝塚公園／昭和44年、国の史跡に指定された水子貝塚は、縄文時代前期(約5500～6000年前)の貝塚として知られ、遺跡の保存と整備の後、『水子貝塚公園』として開園しました。



# 伝統文化と景勝地

## ふじみ野市

福岡河岸記念館／市指定文化財・福田屋（船問屋）の建物を福岡河岸記念館として保存・公開しています。館内は、江戸から昭和初期まで江戸（浅草）と当地方を結んでいた、船問屋の様子を再現しています。



## 所沢市

所沢航空記念公園／「日本航空発祥の地」であり、市街地の中のみどり豊かな公園です。



## 狭山市

入間川七夕まつり／江戸時代から続くお祭りで、西武新宿線狭山市駅前から七夕通りに色とりどりの竹飾りが立てられ、きらびやかなトンネルが続きます。



## 三芳町

三富新田（さんとめしんでん）／雑木林の落ち葉を堆肥として使う、昔ながらの循環型農業を代表する地域です。



## 入間市

茶畑／入間市の武蔵野台地北西部、加治丘陵南側に広がる「金子台」、八十八夜を過ぎる頃には一斉に一番茶の茶摘みが行われます。



## 飯能市

飯能河原／入間川（名栗川）が大きく蛇行して出来た広い河原で、川遊びやバーベキュー、デイキャンプ場として人気が高く、多くの家族連れで賑わいます。



## 日高市

巾着田／彼岸花の名所として知られ、夏の終わりから秋にかけて花が咲き、多くの見物客で賑わいます。



# 20 JAいるま野年のあゆみ

JA IRUMANO 20th anniversary





# 20年のあゆみ 1996-1997

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>1996年 平成8年</p>	<p>4月 1日 ●JAいるま野開所式、合併登記                      4月15日 ●JAいるま野広報誌創刊                      4月22日 ●川越中央支店オープン                      6月28日 ●精明支店新築オープン                      8月30日 ●美杉台支店新築オープン                      9月14日 ●住宅展示場「ハウスフォーラムふじみ野」開設                      11月18日 ●坂戸三芳野支店改装オープン</p>  <p>いるま野農業協同組合開所式</p>  <p>土地税制の適正化と平成8年水田農業対策に関する要請書を管内選出国會議員に提出</p>	<p>4月 ○改正保険業法施行(子会社による生損保の相互参入、ソルベンシーマージンの導入等)                      ○三菱銀行と東京銀行が合併し、東京三菱銀行誕生                      6月 ○金融関連法案の成立で、住専処理として6,850億円の財政資金投入及び5年間のペイオフ凍結等が決定                      7月 ○精米の産地・品種・産年の表示義務化がスタート                      ○(株)住宅金融債権管理機構が設立                      9月 ○整理回収銀行が発足                      ○青果物の原産地表示の義務化スタート                      10月 ○農水省が水稻作況指数104と発表 3年連続の豊作                      11月 ○阪和銀行が業務停止命令(戦後初)</p>
<p>1997年 平成9年</p>	<p>2月 3日 ●高階支店新築オープン                      2月 7日 ●JA全国広報大賞受賞、埼玉県知事賞受賞(広報部門)                      4月12日 ●鶴ヶ島農産物直売センター新装オープン                      5月 8日 ●第1回通常総代会                      5月15日 ●農林水産省経済局長賞受賞(農協教育広報優績表彰)                      5月26日 ●城山デイサービスセンター開設                      10月16日 ●結婚相談所開設                      11月17日 ●高萩東支店統合廃止                      11月30日 ●入間川農産物直売所オープン                      12月26日 ●大家支店、坂戸支店改装オープン</p>  <p>群馬県片品村にて「夏休みこども村」を実施</p>  <p>結婚相談所開設</p>	<p>1月 ○改正農協法施行(代表理事の兼職兼業の禁止、経営管理委員会制度、員外・常勤監事制度および中央会の法定監査の導入等)                      4月 ○消費税の税率3%から5%にアップ                      5月 ○外貨両替業務の自由化を盛り込んだ改正外為法が成立                      6月 ○患者負担が増大となった健康保険法が改正                      7月 ○香港が中国に返還                      8月 ○動燃東海事業所放射能漏れ事故が発生                      11月 ○サッカーW杯にイランを下し初出場決定                      12月 ○金融機関の破綻処理手法を拡充する改正預金保険法が成立                      ○東京湾横断道路アクアラインが開通</p>

# 1998-1999

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>1998年 平成10年</p>	<p>3月 9日 ● 埼玉県知事賞受賞(広報部門)            3月30日 ● ホームページ開設            5月14日 ● 農林水産大臣賞受賞(教育広報部門)            6月23日 ● 第2回通常総代会            6月23日 ● WING PLAN 21(長期基本構想、長期基本計画)策定            8月18日 ● 「武蔵野の緑を考える集い」開催</p>  <p>ホームページ開設</p>  <p>狭山市市民会館で「武蔵野の緑を考える集い」を開催</p>	<p>1月 ○ 関東甲信越地方大雪により交通機関が大混乱  <b>2月 ○ 長野冬季オリンピックが開幕</b>            4月 ○ 改正外国為替法と日銀法が施行され、日本版ピクバン(金融制度改革)がスタート            6月 ○ 大蔵省の金融検査・監督部門を分離、金融監督庁が発足            7月 ○ 小淵内閣が発足            8月 ○ 北朝鮮が弾道ミサイル「テポドン」を発射  <b>10月 ○ JA貯金やJAローンの愛称がJAバンクと統一</b>            11月 ○ 埼玉県有機農産物・特別栽培農産物の認証制度が発足            12月 ○ 平成11年4月から米の輸入を関税化する事を政府決定</p>
<p>1999年 平成11年</p>	<p>1月14日 ● 日東南台支店・水谷東支店・八津池支店・長瀬ハイランド支店統合廃止            2月12日 ● ダイオキシン調査結果公表            3月26日 ● 衆参両院に「平地山林・屋敷林を守るための相続税の納税猶予制度の適用に関する請願」を提出  <b>4月26日 ● 三芳支店新築オープン</b>            6月15日 ● 第3回通常総代会  <b>6月26日 ● ダイオキシン安全宣言発表</b>            8月~9月 ● 固定資産税の適正化に関する陳情書を各行政に提出            10月 1日 ● 太陽の家デイサービスセンター開設</p>  <p>ダイオキシン調査結果公表</p>  <p>体験落ち葉掃きの実施</p>  <p>衆参両院に「平地山林・屋敷林を守るための相続税の納税猶予制度の適用に関する請願」を提出</p>	<p>1月 ○ 欧州単一通貨ユーロが誕生  <b>2月 ○ テレビ朝日のダイオキシン報道で農作物が風評被害</b>            3月 ○ 金融再生委員会が大手銀行15行に7兆4,000億円の公的資金注入を正式承認            4月 ○ 改正食糧法など四法が施行され、米関税化に移行            5月 ○ 「新たな麦大綱」が決定12年産麦より民間流通へ移行            7月 ○ 食料・農業・農村基本法(新農業基本法)が施行            11月 ○ 航空自衛隊機が狭山市入間川河川敷に墜落送電線を切断し、約80万世帯で停電            12月 ○ コンピューター2000年問題で警戒</p>



# 2000-2001

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2000年 平成12年</p>	<p>2月16日 ● 入間市と災害協定を締結                  2月25日 ● 坂戸市と災害協定を締結                  4月 1日 ● かみふくおか西デイサービスセンター開設                  4月 3日 ● 日高市との災害協定を締結                  4月12日 ● JAいるま野・JA所沢市合併促進協議会設立                  6月21日 ● 第4回通常総代会  <b>10月10日 ● 大田支店新築オープン</b>                  10月21日 ● JAいるま野・JA所沢市合併予備契約調印式</p>  <p>JAILいるま野・ JA所沢市合併予備契約調印式</p>  <p>川越南文化会館にて都市近郊緑地総合研究機構設立記念大会を開催</p>  <p>「食・農・環境を考える集い」を開催</p>	<p>3月 ○ 2010年までの食料自給率目標が45%に決定                  ○ 北海道有珠山が噴火                  4月 ○ 47都道府県連と全共連の一斉合併                  ○ 介護保険制度スタート                  ○ 森内閣が発足                  5月 ○ 高齢者らの利便性や安全性を目指した交通バリアフリー法が成立                  6月 ○ 改正JAS法施行                  7月 ○ 三宅島雄山が噴火9月4日全島民が避難                  ○ 2000円札の発行                  8月 ○ 偽造防止対策の新500円硬貨を発行                  ○ 日銀がゼロ金利政策を解除                  9月 ○ シドニーオリンピック開幕                  11月 ○ IT基本法(高度情報通信ネットワーク社会形成基本法)が成立</p>
<p>2001年 平成13年</p>	<p>2月13日 ● みよしの支店、新狭山支店、北坂戸支店、元加治駅前支店統合廃止                  2月21日 ● JA全国金融推進大会農林水産大臣賞受賞                  3月17日 ● 都市近郊緑地総合研究機構推進大会  <b>3月19日 ● 入西支店新築オープン</b>                  3月22日 ● 狭山市と災害協定を締結  <b>4月 2日 ● JA所沢市と合併登記</b>                  5月24日 ● JA共済優績組合表彰で全共連会長表彰(特別優績表彰)受賞                  6月15日 ● 第5回通常総代会</p>  <p>小学生700人と土屋知事が参加しての平地林イベント</p>  <p>長野県白馬村にて「夏休みこども村」を実施</p>  <p>JA全国金融推進大会農林水産大臣賞受賞</p>	<p>1月 ○ 米の大統領にブッシュ氏就任                  3月 ○ ユニバーサルスタジオジャパン開業                  4月 ○ ねぎ、生シイタケ、豊表(イ草)の農産物セーフガード発動                  ○ 小泉内閣が発足                  7月 ○ 世界柔道選手権で田村亮子選手が史上初の5連覇  <b>9月 ○ 農水省、狂牛病の疑いのある牛1頭を日本で初めて確認</b>                  ○ <b>アメリカ同時多発テロ、世界貿易センター倒壊</b>                  ○ 高橋尚子選手ベルリンマラソンで女子の世界記録を達成し優勝                  10月 ○ 農水省、肉骨粉の国内での製造・販売と輸入を全面停止                  ○ ノーベル化学賞に野依良治氏(名古屋大学)                  12月 ○ 雅子さま、女兒出産</p>

# 2002-2003

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2002年 平成14年</p>	<p>1月15日 ● JAいるま野キャッチフレーズ「地球にやさしさ 耕す未来」発表</p> <p>2月 6日 ● JA全国広報大賞受賞</p> <p>4月 1日 ● 単行本「武蔵野の落ち葉は生きている」刊行</p> <p>4月30日 ● 福原支店新築オープン</p> <p>5月 7日 ● 南畑支店新築オープン</p> <p>6月13日 ● 第6回通常総代会</p> <p>11月 5日 ● 「JAいるま野新情報システム」稼働開始</p> <div data-bbox="375 689 694 817">  <p>JAいるま野 キャッチフレーズ 「地球にやさしさ 耕す未来」</p> </div> <div data-bbox="726 689 1013 884">  <p>群馬県片品村にて「夏休み子ども村」を実施</p> </div> <div data-bbox="375 907 798 1164">  <p>みどり豊かな三富地域づくりシンポジウム</p> </div>	<p>2月 ● 冬季オリンピック ソルトレークシティー大会開幕</p> <p>3月 ● 台湾で(M7.3)の地震発生</p> <p>4月 ● ゆとり教育スタート</p> <p>5月 ● サッカーワールドカップ 日韓共催</p> <p>7月 ● 郵政関連法案が成立 翌4月に「日本郵政公社」発足</p> <p>8月 ● 塩川財務相、新紙幣発行を発表 2000円を除く各紙幣を20年ぶりに刷新を決定 2004年春より変更</p> <p>9月 ● 高橋尚子選手、ベルリンマラソンで2連覇</p> <p>10月 ● ノーベル物理学賞に小柴昌俊氏(東京大学名誉教授)</p> <p>● ノーベル化学賞に田中耕一氏(島津製作所エンジニア)</p>
<p>2003年 平成15年</p>	<p>3月26日 ● 狭山市南部団地森林施業計画認定</p> <p>6月12日 ● 第7回通常総代会</p> <p>6月18日 ● 農政対策協議会設立総会</p> <p>● 所沢市と災害協定を締結</p> <p>10月16日 ● 所沢ダイオキシン報道訴訟最高裁が審理を東京高等裁判所へ差戻し判決</p> <p>11月 2日 ● 彩の国ふるさと農林まつり埼玉農林業賞を受賞</p> <p>11月17日 ● 埼玉県知事賞受賞(広報誌部門)</p> <div data-bbox="375 1534 758 1780">  <p>所沢ダイオキシン報道訴訟差戻し判決記者会見</p> </div> <div data-bbox="710 1792 1013 2016">  <p>機械を利用し資源の再利用 枯損木のチップ化</p> </div>	<p>1月 ● 松井秀喜外野手、米大リーグ・ニューヨークヤンキースに入団契約</p> <p>● 横綱 貴乃花が引退</p> <p>2月 ● スペースシャトル「コロンビア」空中分解 地上への帰還失敗</p> <p>4月 ● 日本郵政公社発足</p> <p>6月 ● 「六本木ヒルズ」がオープン</p> <p>7月 ● スペイン・バルセロナの世界水泳選手権北島康介選手が200M平泳ぎ世界新記録で優勝</p> <p>8月 ● 農水省がコメの作柄状況を発表 93年以来の不作</p> <p>9月 ● 柔道世界選手権で田村亮子選手が優勝 6連覇</p> <p>● 十勝沖地震(M8)</p> <p>12月 ● 地上デジタル放送開始 東京・大阪・名古屋地域</p>



# 2004-2005

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2004年 平成16年</p>	<p>1月20日 ● おおい・みよし団地森林施業計画認定  <b>2月16日 ● 毛呂山支店新築オープン</b>  <b>2月23日 ● 高萩支店新築オープン</b>                  ● 狭山共販センター竣工                  3月26日 ● 川越中央支店・坂戸中央支店・所沢支店統合廃止                  3月29日 ● 田面沢支店・坂戸支店の移転                  6月12日 ● アグリキッズスクール開講                  6月15日 ● 第8回通常総代会  <b>6月16日 ● 所沢ダイオキシン報道訴訟和解</b>                  9月27日 ● 狭山市北部団地森林施業計画認定                  10月 1日 ● 購買品新配送システムスタート</p> <div data-bbox="339 790 721 1003">  <p>アグリキッズスクール開講</p> </div> <div data-bbox="746 790 975 1003">  <p>体験落葉掃きの実施</p> </div> <div data-bbox="339 1025 975 1167">  <p>ダイオキシン報道訴訟和解 テレビ朝日の謝罪内容及び謝罪放送</p> </div>	<p>2月 ○ 鳥インフルエンザ・京都の農場20万羽処分                  3月 ○ 日本、メキシコ両政府が自由貿易協定(FTA)の締結で正式合意                  8月 ○ アテネオリンピック 日本メダルラッシュ                  9月 ○ 浅間山が噴火                  10月 ○ マリナーズのイチロー・外野手シーズン最多安打257本を塗り替え259本                  ○ 新潟県中越地震(M6.8) 死者51人、重軽傷者4,800人 家屋5,000棟以上被害 10万人避難生活                  12月 ○ スマトラ島沖地震(M9) 死者・行方不明者23万人                  ○ 天皇家の長女紀宮さまと東京都職員の黒田慶樹さんの婚約内定を正式発表</p>
<p>2005年 平成17年</p>	<p><b>3月 7日 ● 山田支店新築オープン</b>                  3月14日 ● 角栄支店・二本木支店・川角支店・美杉台支店統合廃止                  3月15日 ● 広域営農センター竣工                  3月28日 ● 農産物直売所「とことこ市」(所沢市寿町)オープン                  5月31日 ● 「高階・福原団地」森林施業計画認定                  6月16日 ● 第9回通常総代会                  10月 3日 ● 東入間警察と地域安全に関する協定を締結</p> <div data-bbox="339 1536 975 1809">  <p>広域営農センター竣工</p> </div> <div data-bbox="339 1749 568 2013">  <p>夏休み親子自然体験実施(群馬県片品村)</p> </div>	<p>2月 ○ 京都議定書発効                  3月 ○ 愛・地球博(愛知万博)開幕                  ○ 島根県議会本会議で2月22日を竹島の日とする条例が可決                  4月 ○ JR福知山線・脱線事故、死者107人、負傷者550人                  ○ 個人情報保護法が施行                  5月 ○ 4月29日「みどりの日」を「昭和の日」とする改正祝日法が成立                  6月 ○ 茨城で鳥インフルエンザウイルス発生                  7月 ○ クールビズで地球温暖化対策                  9月 ○ 自民党単独で296議席を獲得、小泉政権歴史的圧勝                  10月 ○ パキスタン大地震(M7.6)死者7万3千人・インド側1,300人</p>

# 2006-2007

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2006年 平成18年</p>	<p>1月18日 ● 狭山市・狭山警察と防犯協定を締結            3月13日 ● 西川支店を統合廃止            3月23日 ● 飯能市と災害協定を締結            3月31日 ● 「ハウスフォーラムふじみ野」移管            5月 8日 ● 本店事務所移転  <b>5月28日 ● 合併10周年記念式典</b>            6月16日 ● 第10回通常総代会            7月 7日 ● 川越市と災害協定を締結            8月 1日 ● JAいるま野千代田デイサービスセンターオープン  <b>8月28日 ● 坂戸三芳野支店・勝呂支店を統合廃止し、宮町支店新築オープン</b>  <b>9月15日 ● JAいるま野精米センター竣工式</b>  <b>11月 1日 ● 日高中央直売所新築オープン</b>  <b>11月24日 ● 株式会社いるま野アグリ創立総会</b></p>  <p>合併10周年記念式典</p>	<p>1月 ○ 東京三菱銀行とUFJ銀行が合併、三菱東京UFJ銀行が発足            ○ 輸入を再開したアメリカ合衆国産牛肉が再び全面禁輸            ○ 日本郵政株式会社が発足            2月 ○ 表参道ヒルズがオープン            ○ トリノオリンピックで荒川静香選手が金メダル獲得            3月 ○ 日本銀行、量的金融緩和政策を5年ぶりに解除            6月 ○ 村上ファンド、村上世彰代表を証券取引法違反の疑いで逮捕            7月 ○ 2000年8月以来約6年ぶりとなる、ゼロ金利政策の解除            9月 ○ 安倍内閣が発足            12月 ○ サダム・フセイン元イラク大統領の死刑執行</p>
<p>2007年 平成19年</p>	<p>2月22日 ● 環境に関する国際規格ISO14001の認証取得            3月 9日 ● 富士見支店を統合廃止  <b>3月12日 ● 加治支店新築オープン</b>  <b>5月 7日 ● 小手指支店新築オープン</b>            5月17日 ● JA共済大賞受賞            6月15日 ● 第11回通常総代会            8月 6日 ● 所沢事業部事務所移転  <b>8月20日 ● 小手指農産物直売所新築オープン</b>            10月 1日 ● AED(自動体外式除細動器)を全施設に設置            11月 1日 ● 販売事業200億円JAサミット開催(~2日)</p>  <p>JA共済大賞受賞</p>  <p>環境国際規格ISO14001認証取得</p>	<p>3月 ○ インドネシア・スマトラ島中部で(M6.3)の地震発生            4月 ○ 中国の温家宝首相が訪日            5月 ○ ニコラ・サルコジ氏がフランス大統領に就任            8月 ○ 那覇空港で中華航空120便炎上事故発生            9月 ○ フランスで第6回ラグビーワールドカップ開催            ○ インドネシア・スマトラ島南部沖で(M8.5)の地震発生            ○ 福田内閣が発足            12月 ○ タイ王国でクーデター後初となる総選挙を実施            ○ ネパール政府、240年続いた王制を廃止、共和制導入を発表</p>



# 2008-2009

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2008年 平成20年</p>	<p>2月 6日 ● 全国家の光大会第58回家の光文化賞受賞  <b>2月18日 ● 人間支店新築オープン</b>                  3月10日 ● 精明支店・東吾野支店・名栗支店・南高麗支店統合廃止                  3月18日 ● 金融移動店舗車(あぐりプラネット号)を運行開始                  3月19日 ● 毛呂山町と災害協定を締結                  4月 7日 ● 埼玉県と災害協定を締結                  5月13日 ● 日本農業新聞全国大会 創刊80周年特別賞受賞                  5月15日 ● 10年連続受賞 共済優績組合表彰                  6月17日 ● 第12回通常総代会  <b>8月25日 ● 南古谷支店新築オープン</b>  <b>9月16日 ● 吾野支店新築オープン</b>  <b>10月27日 ● 福岡支店新築オープン</b>                  11月 1日 ● JAいるま野環境宣言の制定                  11月11日 ● 越生町と災害協定を締結</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>全国家の光大会第58回家の光文化賞受賞      JAいるま野環境宣言の制定</p>	<p>1月 ○ アジア各地の証券市場が軒並み暴落し、世界同時株安が起こる                  2月 ○ 李明博氏が第17代大韓民国大統領に就任                  3月 ○ 東京外国為替市場で一時1ドル=100円を割りこむ                  5月 ○ 四川大地震の発生                  7月 ○ 為替市場で対円のユーロ相場が1ユーロ=169.93円と歴代最安値を記録                  8月 ○ 北京オリンピック開催  <b>9月 ○ アメリカの大手投資銀行リーマン・ブラザーズが経営破綻(リーマン・ショック)</b>                  ○ 麻生内閣が発足                  ○ アメリカで金融安定化法案が否決され、金融危機が世界的に拡大</p>
<p>2009年 平成21年</p>	<p><b>2月 2日 ● 西武支店新築オープン</b>                  4月 1日 ● ふくはら幼稚園を法人化  <b>4月26日 ● 北部農機センター新事務所オープン</b>                  5月12日 ● 日本農業新聞全国大会 長期普及優績JA受賞                  6月16日 ● 第13回通常総代会                  7月 1日 ● 三市町(ふじみ野市・富士見市・三芳町)と災害協定を締結                  7月30日 ● 夏休みこども金融教室(~8月19日)  <b>12月12日 ● 農機大型センター新事務所オープン</b>  <b>12月14日 ● 東部購買店舗新事務所オープン</b>                  12月28日 ● 入曽支店名称変更(旧人間支店)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>日本農業新聞全国大会 長期普及優績JA受賞</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>三市町(ふじみ野市・富士見市・三芳町)と災害協定を締結</p>	<p>1月 ○ バラク・オバマ氏が、第44代アメリカ合衆国大統領に就任                  ○ 国際通貨基金が、2009年の世界全体の経済成長率が0.5%と、第二次世界大戦後最悪となる見通しを発表                  6月 ○ マイケル・ジャクソンが自宅で心肺停止状態となり逝去                  8月 ○ 民主党が第45回衆議院議員総選挙で第1党に躍進し政権交代                  9月 ○ 民主党の代表鳩山由紀夫氏が首相となる 鳩山内閣が発足                  10月 ○ バラク・オバマ大統領がノーベル平和賞を受賞                  ○ マイクロソフトのOS最新版「Windows 7」が発売</p>

# 2010

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2010年 平成22年</p>	<p><b>1月12日 ● 高麗支店新築オープン</b>            1月24日 ● JA女性組織協議会会長賞受賞  <b>2月26日 ● 貯金残高1兆円達成</b>            3月15日 ● 大家支店を統合廃止  <b>4月28日 ● 農産物直売所「あくれっしゅ川越」オープン</b>            6月16日 ● 第14回通常総代会            7月29日 ● 夏休みこども金融教室(～8月19日)  <b>8月23日 ● 合併15周年記念式典</b>            11月16日 ● わくわくモーモースクール(主催:埼玉県酪農教育ファーム推進委員会)            11月24日 ● 緑のトラスト定期「エコツアー」(～25日)            12月18日 ● 合併15周年記念第5回中学生吹奏楽フェスティバル</p> <div data-bbox="379 860 756 1111" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="762 1088 928 1111">貯金残高1兆円達成</p> <div data-bbox="549 1133 1011 1402" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="379 1335 545 1402">農産物直売所「あくれっしゅ川越」オープン</p> <div data-bbox="379 1424 903 1738" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="909 1693 1015 1738">合併15周年記念式典</p> <div data-bbox="635 1760 1011 2011" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="459 1944 628 2020">合併15周年記念第5回中学生吹奏楽フェスティバル</p>	<p>1月 ○ ドバイの世界一の超高層ビル、ブルジュ・ハリファがオープン</p> <p>2月 ○ バンクーバー冬季オリンピック開催</p> <p>5月 ○ 上海国際博覧会の開幕</p> <p>6月 ○ 菅内閣が発足            ○ 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還、小惑星イトカワから採集したサンプルの入ったカプセルを回収</p> <p>7月 ○ 第22回参院選で自民党が勝利し、ねじれ国会となる</p> <p>11月 ○ 横浜市でアジア太平洋経済協力会議(APEC)の首脳会議が開催</p> <p>12月 ○ チュニジアで暴動が発生し、次第に大規模な反政府運動に発展(ジャスミン革命) これ以降、反政府運動はアラブ世界の各国に波及する</p>



年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2011年 平成23年</p>	<p>2月19日 ● 女性組織協議会15周年記念大会                  2月27日 ● 合併15周年記念こども料理コンクール実技審査・表彰                  5月16日 ● JAポイントサービス開始                  6月15日 ● 第15回通常総代会  <b>7月19日 ● 越生支店新築オープン</b>  <b>10月15日 ● 入間農産物直売所オープン</b>                  10月15日 ● 結婚相談所ふれあいバスツアー                  10月28日 ● 入間酪農協会                  第1回ペーショアー(於:埼玉県農業大学校)                  11月18日 ● 農業体験懸賞付き定期「ゆず収穫体験」  <b>12月19日 ● 東部統括・大井支店新築オープン</b></p>  <p>女性組織協議会 15周年記念大会</p>  <p>合併15周年記念 こども料理コンクール実技審査・表彰</p>  <p>JAポイント サービス開始</p>  <p>入間農産物直売所 オープン</p>	<p>1月 ○ 宮崎の養鶏場で鳥インフルエンザを確認、40万羽を殺処分                  2月 ○ エジプトのムバラク大統領が辞任                  ○ ニュージーランドで(M6.3)の大地震  <b>3月 ○ 東京スカイツリーが600Mを超え、自立式電波塔世界一</b>                  ○ 東北新幹線「はやぶさ」が営業運転を開始                  ○ <b>東日本大震災発生</b>                  ○ <b>福島第一原発で爆発</b>                  ○ 九州新幹線が全線開通                  4月 ○ ウィリアム王子とキャサリン・ミドルトンさんが挙式                  5月 ○ ビンラティン容疑者を殺害、遺体収容したと、オバマ米大統領が緊急演説                  6月 ○ ソユーズとISSのドッキングが成功、古川飛行士の長期滞在開始                  ○ 日本勢のスパコン「京」が世界一                  ○ 平泉の世界文化遺産登録が決定                  7月 ○ 最後のスペースシャトルが帰還、30年の歴史に幕                  ○ アナログ放送が終了しデジタル放送へ、58年の歴史に幕                  ○ 女子W杯サッカーなでしこジャパン、アメリカを下し世界一                  8月 ○ なでしこジャパンに団体初の国民栄誉賞                  9月 ○ 野田内閣が発足                  ○ タイの記録的洪水で多数の犠牲者                  11月 ○ 野田首相がTPP交渉参加方針を正式表明                  ○ 大阪ダブル選、維新の会の橋下氏、松井氏が当選                  12月 ○ 日本全国で皆既月食</p>

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2012年 平成24年</p>	<p>3月 3日 ● 第1回JAグループさいたま生産者の集い            4月25日 ● TPP交渉参加表明を阻止する国民集会  <b>5月11日 ● 農産物直売所「あくれっしゅふじみ野」オープン</b>            6月 3日 ● 田植え体験(農業体験懸賞付定期積金)            6月15日 ● 第16回通常総代会            8月27日 ● 2012年「国際協同組合同年」後援事業ミュージカル「おもひでぼろぼろ」観劇会            9月 1日 ● 組合員限定浦和レッズ応援ツアー            9月21日 ● 栗拾い体験(農業体験懸賞付定期積金)            10月13日 ● 職員コンプライアンス研修会            11月15日 ● TPP交渉参加断固阻止緊急全国集会</p>  <p>農産物直売所 「あくれっしゅふじみ野」 オープン</p>  <p>田植え体験 (農業体験懸賞付定期積金)</p>  <p>職員コンプライアンス研修会</p>	<p>1月 ○ パナソニックがグループ再編し新体制でスタート            ○ オウムの平田容疑者を逮捕            ○ 台湾総統選挙で馬英九総統が再選            2月 ○ エルピーダメモリが会社更生法申請            3月 ○ 国内初の格安航空会社「ピーチ」が運航開始            ○ ロシア大統領選でプーチン氏が当選            4月 ○ 金正恩氏が「第1書記」に就任            ○ 新東名高速の御殿場～三ヶ日間が開通            5月 ○ フランス大統領選挙でオランド氏が当選            ○ 英国エリザベス女王在位60年記念の午餐会に天皇、皇后両陛下が出席            ○ 日本全国各地で金環日食を観測            ○ 東京スカイツリーが開業            6月 ○ 台風4号が和歌山県南部に上陸、東日本を縦断            8月 ○ 消費増税法案が参院で可決し成立            ○ 「あべのハルカス」が300M到達し、高層複合ビルとして高さ日本一に            9月 ○ 尖閣諸島を国有化            ○ 橋本代表が「日本維新の会」結成を宣言            ○ 中国の約100都市で反日デモ            10月 ○ 新会社「日本郵便」が発足            ○ JR東京駅の丸の内駅舎がグランドオープン            ○ 京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞            11月 ○ 中国共産党が習近平氏を総書記に選出            12月 ○ 衆院選で自民党と公明党が圧勝し、政権交代 安倍内閣が発足</p>



年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p><b>2013年</b> 平成25年</p>	<p>2月23日 ● 第2回JAグループさいたま生産者の集い                      3月12日 ● 国益を守れないTPP交渉参加断固反対緊急全国集会                      5月25日 ● 日本全国八十八夜の実り(於:銀座三越)                      6月15日 ● 全国一斉TPP反対街宣活動への参加                      6月18日 ● 第17回通常総代会                      7月 6日 ● じゃがいも掘り体験(農業体験懸賞付定期積金)                      10月 2日 ● TPP交渉から「食とくらし・いのち」を守り国会決議の実現を求める全国代表者集会への参加(於:日比谷野外音楽堂)                      11月 5日 ● 青年部・後継者組織代表者会議・情報交換会                      11月15日 ● 埼玉県・関東農政局・関東財務局による『三者要請検査』に係る現物検査  <b>11月25日 ● 鶴ヶ島支店新築オープン</b>                      11月27日 ● ゆず狩り体験(農業体験懸賞付定期積金)                      12月 3日 ● TPP決議の実現を求める国民集会及びデモ行進への参加(於:日比谷野外音楽堂他)                      12月19日 ● 鶴ヶ島市と災害協定を締結</p>  <p>全国一斉TPP反対街宣活動への参加</p>  <p>鶴ヶ島支店 新築オープン</p>  <p>ゆず狩り体験(農業体験懸賞付定期積金)</p>	<p>1月 ○ アルジェリア人質事件で日本人7人の死亡を確認                      2月 ○ ローマ法王が高齢を理由に退位を表明                      ○ 韓国の朴槿恵大統領が就任                      ○ 安倍首相がオバマ米大統領と初めて会談、TPP参加意向を表明                      3月 ○ ミャンマーのNLD党大会でスー・チー党首を再選                      ○ 習近平氏が中国国家主席に選出される                      ○ 東急東横線と東京メトロ副都心線が渋谷駅で接続し直通運転開始                      ○ 安倍首相が黒田日銀総裁に辞令を交付                      4月 ○ 東京ディズニーランドが開園30周年                      ○ ボストン・マラソンで爆発、死者3人、負傷者は260人以上                      5月 ○ 長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に国民栄誉賞授与                      ○ 出雲大社で60年ぶりに本殿遷座祭                      6月 ○ 富士山の世界遺産登録が正式決定  <b>7月 ○ 米デトロイト市が財政破綻、破産法を申請</b>                      ○ 参院選で自民党が圧勝、ねじれを解消                      ○ 英国王室のキャサリン妃が男児を出産  <b>○ 日本がTPPの交渉会合に正式参加</b>                      8月 ○ 「国の借金」が初めて1,000兆円を突破                      9月 ○ 2020年夏季五輪の東京開催が決定、56年ぶり2回目                      10月 ○ 安倍首相が消費税率の8%への引き上げを発表                      ○ 米政府機関が17年ぶり閉鎖、予算不成立のまま新年度入り                      11月 ○ ケネディ新駐日大使が着任</p>

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p><b>2014年 平成26年</b></p>	<p>1月14日 ● 埼玉県・関東農政局・関東財務局による『三者要請検査』に係る本検査(～30日)</p> <p>3月19日 ● 青年部・後継者組織全体交流大会</p> <p>4月 2日 ● JAIいるま野牛部会設立総会</p> <p>4月19日 ● 自然観察会・タケノコ掘り(トラスト定期貯金)</p> <p>6月13日 ● 第18回通常総代会</p> <p>6月17日 ● 雪害に係る廃農業資材無料収集処理の実施(収集処理量24,860kg)(・24日)</p> <p>7月 1日 ● トウモロコシ収穫体験(農業体験懸賞付定期積金)</p> <p>9月 7日 ● 役職員コンプライアンス研修会</p> <p>11月11日 ● 雪害に係る廃農業資材無料収集処理の実施(・18日)</p> <p><b>11月21日 ● 農産物直売所「あぐれっしゅげんき村」オープン</b></p> <div data-bbox="609 824 1013 1079" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="467 1037 603 1084">JAIいるま野牛部会設立総会</p> <div data-bbox="379 1102 742 1361" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="746 1290 1013 1361">雪害に係る廃農業資材無料収集処理の実施(収集処理量24,860kg)</p> <div data-bbox="609 1384 1013 1662" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="395 1619 603 1666">役職員コンプライアンス研修会</p> <div data-bbox="379 1684 893 1989" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="379 1991 769 2016">農産物直売所「あぐれっしゅげんき村」オープン</p>	<p>1月 ○ アクリフーズ農薬混入事件</p> <p><b>2月</b> ○ ロシアソチにて冬季オリンピック開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京都知事選挙で舛添要一氏が初当選</li> <li>○ <b>関東・甲信地方を中心とした各地で大雪(平成26年豪雪)</b></li> <li>○ TPP協定交渉で関税撤廃の協議で折り合えず、「大筋合意」を断念</li> </ul> <p>3月 ○ マレーシア航空の旅客機370便が消息不明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若田光一氏が日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任</li> <li>○ 株式会社東京証券取引所グループとの合併により大阪証券取引所が大阪取引所となる</li> </ul> <p><b>4月</b> ○ <b>消費税が5%から8%に増税</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アメリカ合衆国のバラク・オバマ大統領が来日</li> </ul> <p>6月 ○ 富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 圏央道の相模原～高尾山インターチェンジ間開通により関越道・中央道・東名高速がつながる</li> </ul> <p>7月 ○ 川内原子力発電所が安全審査に初めて合格</p> <p>8月 ○ WHOが西アフリカでエボラ出血熱流行を宣言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豪雨による広島市の土砂災害</li> </ul> <p>9月 ○ スコットランド独立住民投票を実施 結果は「否決」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 御嶽山が7年ぶりに噴火、50人以上が犠牲となる</li> </ul> <p>11月 ○ 「和紙 日本の手漉和紙技術」が無形文化遺産に登録</p>



年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p><b>2015年</b> 平成27年</p>	<p><b>2月 6日 ● 本店竣工式</b>                  2月16日 ● 牛部会生乳取引交渉に係る要望書提出                  2月17日 ● 青年部・後継者組織全体交流大会                  3月 7日 ● 第3回JAグループさいたま生産者の集い                  3月 9日 ● トラスト定期貯金に係る寄付金贈呈(～25日)                  3月20日 ● 国会決議実現に向けたTPP交渉情勢報告会への参加                  4月 1日 ● 合併20周年記念PRポスターの掲示開始                  6月 1日 ● 合併20周年記念年末ジャンボ宝くじ付定期貯金の販売開始                  6月17日 ● 第19回通常総代会  <b>8月24日 ● 飯能支店新築オープン</b>                  8月29日 ● 合併20周年記念大盆踊り大会の開催                  11月 7日 ● 合併20周年記念アグリキッズツアーの開催                  11月21日 ● 合併20周年記念直売所感謝祭の実施(～23日)</p> <div data-bbox="339 925 849 1256" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="339 1263 437 1285">本店竣工式</p> <div data-bbox="512 1281 975 1606" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="339 1563 504 1608">青年部・後継者組織 全体交流大会</p> <div data-bbox="339 1626 927 1986" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="339 1991 651 2013">合併20周年記念大盆踊り大会の開催</p>	<p>2月 ○ イギリス王室のウィリアム王子が初来日                  3月 ○ 東洋ゴム工業の免震ゴムのデータ偽装が発覚                  ○ チュニジアのバルド国立博物館にて銃乱射事件発生                  4月 ○ 首相官邸屋上にてドローンが発見される                  5月 ○ 箱根山に火口周辺警報を発表し立ち入りを規制                  ○ 口永良部島 新岳で爆発的噴火                  6月 ○ 選挙権の年齢を18歳以上へ引き下げた公職選挙法改正案が可決成立                  7月 ○ 東京都調布市にて、小型飛行機が住宅街に墜落する事故が発生  <b>8月 ● 参議院本会議で改正農協法等が可決成立</b>                  ○ 日本の無人宇宙補給機「こうのとり5号機」の打ち上げ成功                  9月 ○ 茨城県常総市にて鬼怒川の堤防が決壊し甚大な被害が発生(平成27年9月関東・東北豪雨)  <b>10月 ● ノーベル生理学・医学賞に大村智氏、ノーベル物理学賞に梶田隆章氏が選ばれる</b>                  ○ <b>米アトランタで12カ国による閣僚会合が開催されTPPが大筋合意</b>                  ○ 圏央道の拡張に伴い東名高速道路から東北自動車道までつながる                  11月 ○ 日本郵政・かんぽ生命・ゆうちょ銀行の3社が上場                  ○ パリで同時多発テロ事件発生                  12月 ○ 2020年東京五輪・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場のデザイン決定</p>

年代	主な出来事と取り組み	社会・経済の出来事
<p>2016年 平成28年</p>	<p><b>1月18日</b> ● 狭山支店新築オープン  <b>1月19日</b> ● 合併20周年記念資産管理組織連絡協議会記念セミナー  <b>2月 3日</b> ● 合併20周年記念歌謡ショー感謝の集い(～5日、24・25日)  <b>2月21日</b> ● 合併20周年記念こども料理コンクール  <b>3月 8日</b> ● 青年部・後継者組織全体交流会  <b>3月14日</b> ● 合併20周年記念歌謡ショー感謝の集い  <b>5月17日</b> ● 合併20周年記念式典</p>  <p>合併20周年記念 資産管理セミナー</p>  <p>合併20周年記念 こども料理コンクール</p>  <p>合併20周年記念歌謡ショー</p>	<p>1月 ○ サウジアラビアとイランが外交関係を断交すると発表      ○ 中国株式市場で年明け最初の営業日の下げ幅としては過去最大となる      ○ 日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入      2月 ○ 台湾南部地震(M6.6)発生      ○ 北朝鮮が人工衛星と称するミサイルを発射  <b>4月</b> ○ 改正農協法が施行</p>



# Column②

JA IRUMANO 20th anniversary

JA いるま野の直売所

## おいしいものが見つかる JAいるま野の直売所

JA いるま野の各農産物直売所では、地元で採れた新鮮な農畜産物を中心に豊富な品揃えでお客様を迎えております。



### 大型農産物直売所

#### ① あぐれっしゅ日高中央 (平成18年11月1日オープン)

新鮮な野菜や切り花が人気の当直売所は、地元で採れた野菜の他に加工施設を設け焼きたてパンやまんじゅう、ジェラートを作っています。

住所 / 〒350-1236 埼玉県日高市猿田77-1  
電話番号 / 042-989-9161  
営業時間 / 8:30~17:00  
定休日 / 水曜日(祭日の場合営業)



#### ② あぐれっしゅ川越 (平成22年4月28日オープン)

地場産を中心に農産物が並び、店内では食育ソムリエによる地場野菜を使用した調理方法や珍しい野菜の簡単でおいしい食べ方などをご案内しています。

住所 / 〒350-0853 埼玉県川越市城下町45-3  
電話番号 / 049-227-0831  
営業時間 / 9:00~17:30  
定休日 / 水曜日(祭日の場合営業)

#### ③ あぐれっしゅふじみ野 (平成24年5月11日オープン)

店内には地場産を中心とした農産物や直売所ならではの珍しい野菜が多数並び、簡単でおいしい食べ方などをご案内しております。

お惣菜コーナーでは、地元農産物を使用した手作りお惣菜やお弁当も取り揃えています。

住所 / 〒356-0056 埼玉県ふじみ野市うれし野2-4-1  
電話番号 / 049-263-5637  
営業時間 / 9:30~18:30(3月~9月) 9:30~18:00(10月~2月)  
定休日 / 第3水曜日



#### ④ あぐれっしゅげんき村 (平成26年11月21日オープン)

新鮮野菜や狭山茶、その場で精米する新米など地元農産物を豊富に取り揃えております。

手作りお惣菜、埼玉県産小麦を使用したうどん、フードコートでは旬の野菜を使ったサラダやシフォンケーキなどが食べられます。

住所 / 〒350-1312 埼玉県狭山市大字堀兼2085-1  
電話番号 / 04-2957-0831  
営業時間 / 9:30~18:30(4月~9月) 9:30~17:30(10月~3月)  
定休日 / 第3水曜日 年末年始

### その他の直売所

- 坂戸直売所
- 毛呂山直売所
- 松井直売所
- 小手指直売所
- 入間直売所
- 高萩南直売所
- 鶴ヶ島直売所
- 越生直売所
- 山口直売所
- 狭山ヶ丘直売所
- 飯能直売所
- いるマルシェ

# 組JAいるま野織概要

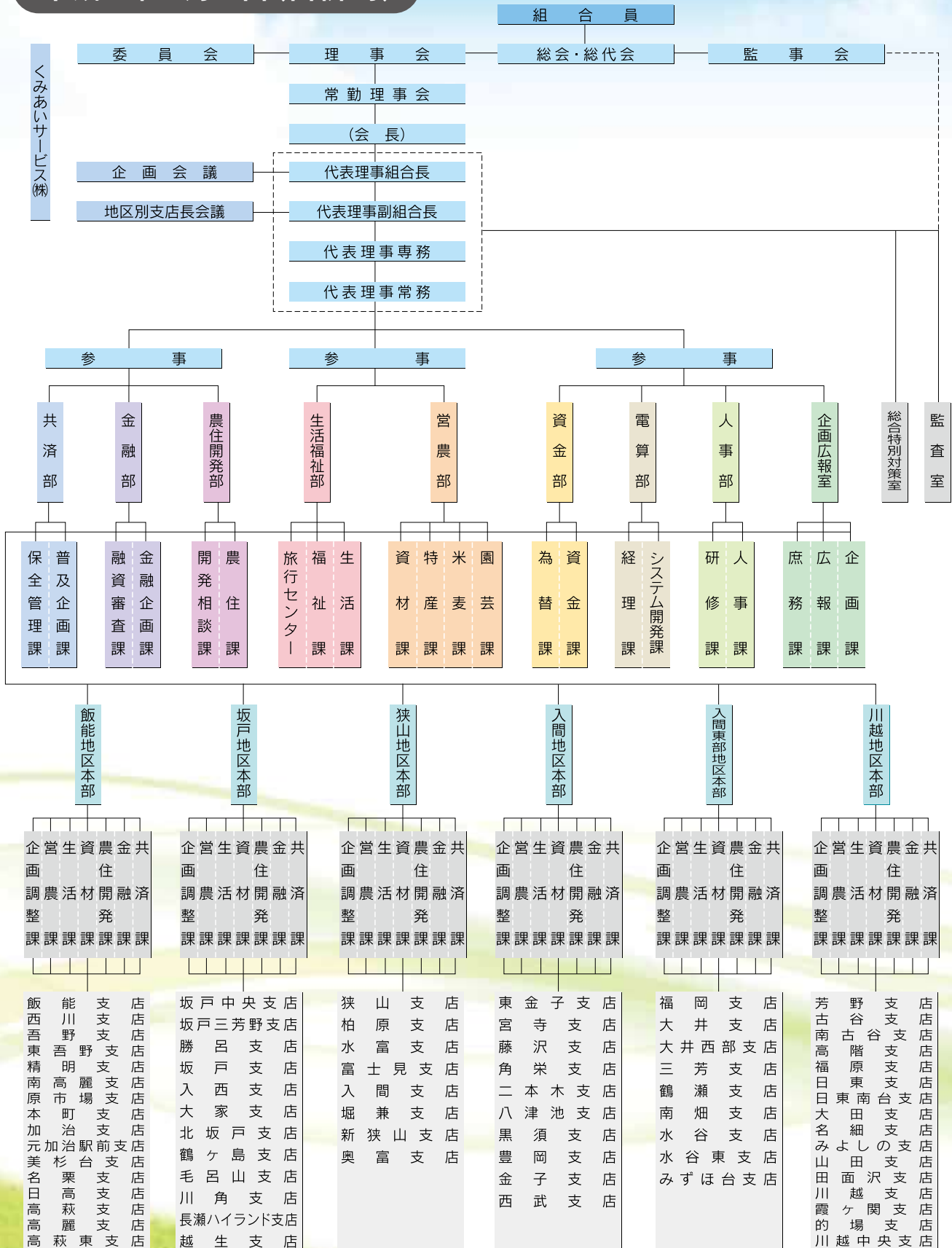
JA IRUMANO 20th anniversary



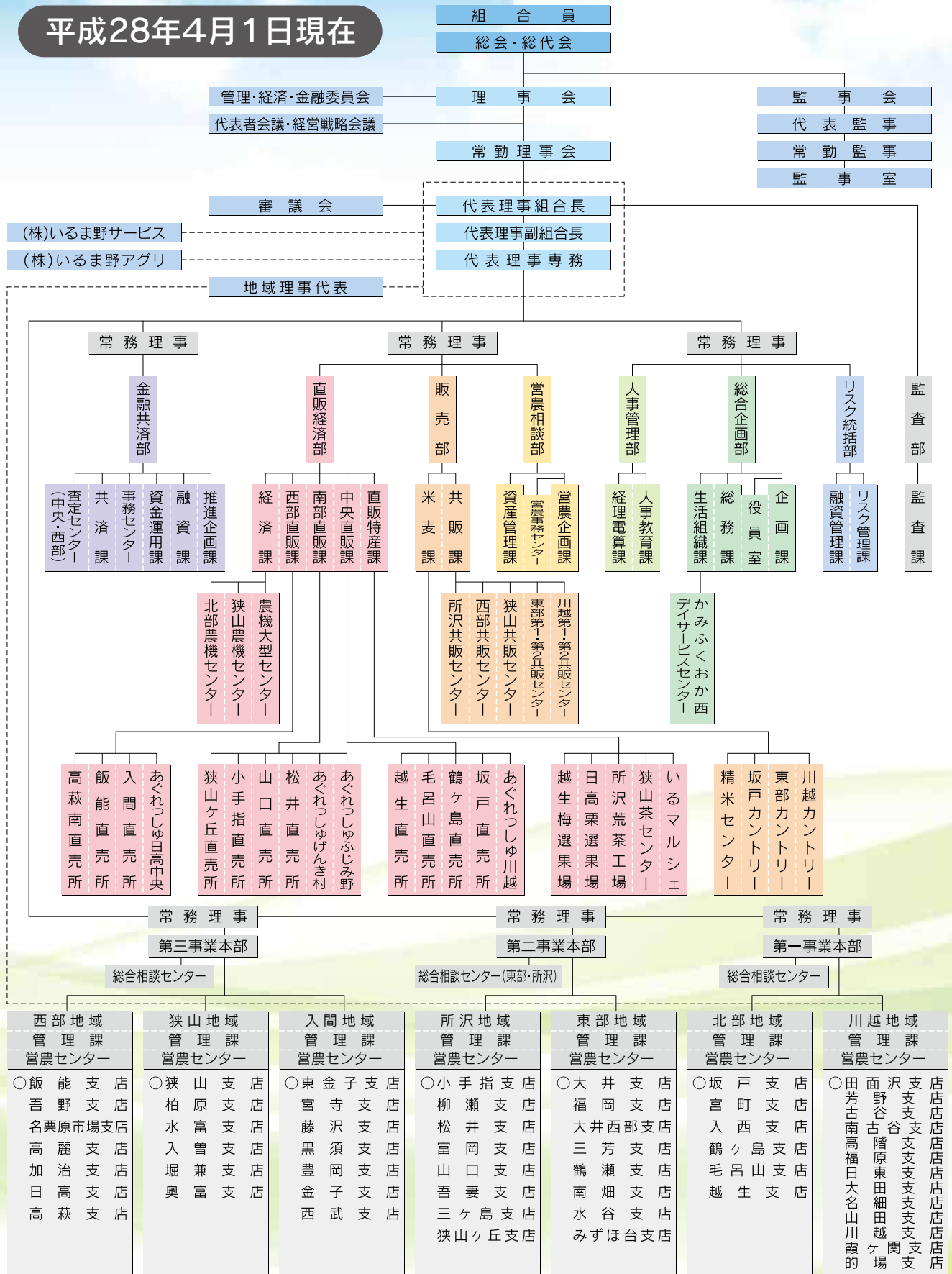


# 組合機構図

平成8年4月1日(合併時)



平成28年4月1日現在



○印は基幹支店



# 組織活動

## 農業生産組織活動

各生産組織では、高品質で安心・安全な農畜産物生産に向けた技術の向上と、安定出荷のための計画的な播種、予約出荷を実践しています。

野菜共販組織では、市場等における競争上の優位性を確保する取り組みを進めるとともに、「JAいるま野販売戦略」に基づく生産者・JA各々の役割を共有し、会員の所得増大を目指して活動しています。

米の生産組織では、「彩のきずな」等の安定生産を目指した栽培講習会の開催や、低コスト・省力化を目指した取り組みとして、鉄コーティング直播栽培技術や苗箱全量施肥技術の研究を行うとともに、「彩のきずな」の特A取得に向けたプロジェクトも新たにスタートしています。

直売組織では、大型直売所の出店に伴い設立した直売組合において、県外店舗への視察等による先進事例の研究に取り組み、消費者との交流の充実・活性化を目指しています。



## 後継者組織活動

青年部・後継者組織の活動は、各地域の単位組織において経営形態、地域特性を考慮した活動を積極的に展開するとともに、全体活動として、代表者会議を中心として先進地視察研修会を実施しています。

また、会員の学習機会として講演会等を開催するとともに、情報交換の場としての全体交流大会を実施し、組織の活性化に努めています。



## 資産管理組織活動

資産管理組織では、農家の事業承継を円滑に行うことを目的に「相続・遺言セミナー」「個別相談会」を開催するなど、相続の現状や対策についての研修を実施しています。これにより「相続」への問題意識を持つとともに、個別相談を行うことにより参加者の実情に即した対応を実践しています。

また、各地域資産管理組織では各種の税制改正に対応するため税務等の研修会・講演会を開催し、税制についての理解を深めながら各自の問題点の解消方策について考察を行っています。

さらに、確定申告事務においては、税理士会から派遣税理士を受入れ申告書の提出を行うことで、組合員の利便性の向上に努めるとともに、新たに資産管理組織会員向けに記帳代行業務を開始し、事業の決算書作成の代行を行うことにより会員の負担軽減、節税に資する取り組みを進めています。



## 女性組織活動

女性組織では、女性の社会的・経済的地位の向上、積極的なJA運営への参画、住みよい地域づくりを目的に、各種イベントへの参加を通じた「JAいるま野女性部」のPR活動を行っています。

また、女性組織活動の活性化を目指し、女性部未加入者の新たなサークル活動への加入促進を図るなど、部員増員運動も実施しています。



## 高齢者福祉対策組織活動

高齢者が増加する中、ホームヘルパー有資格者を中心に構成される「助け合い組織」では、各地域で「ミニデイサービス」「施設ボランティア」「声かけ運動(季節食のプレゼント)」等を実施しています。

また、埼玉県交流集会への参加や会員相互の親睦を兼ねた日帰り研修を実施しています。



## 利用者組織活動

年金友の会では、年金受給口座の拡大と組織の活性化を目的に「グラウンドゴルフ大会」「親睦旅行」等を実施しています。また、各地域ごとに「健康講話会」「会員の集い」等を開催し、多数の会員にご参加いただいております。

共済友の会では、会員相互の親睦と福祉・健康づくり活動を目的に「会員の集い」「親と子の集い」「福祉チャリティーゴルフ大会」等を実施するとともに、「生活習慣病巡回検診」では毎年1,000人を超える会員が受診し、健康の維持・増進に努めています。



## 文化・サークル組織活動

会員に様々な「活躍の場」を提供するとともに、地域文化・伝統を継承していくことを目的に、各種の文化・サークル活動を実施しています。

「料理研究グループ」では地元農産物を使った料理研究を行っています。また、地域の伝統食を次代に引き継いでいくことをその目的としている「武蔵野食文化推進者」は、料理講習会や地域イベントへの参加による伝統食の伝承活動を行っています。



## 農政対策組織活動

農政対策協議会では毎年、各地域の農政対策委員会にて提案された農政課題を集約し、「担い手育成支援対策の充実」「農業生産者に対する各種税負担の軽減」「自然災害等発生時における十分な支援の実施」などを求める「JAいるま野農政課題」を作成し、「要望書」として埼玉県農協農政対策委員会に提出しています。

また、毎年8月に開催される総会には農政問題に精通した外部講師を招聘し、農業・農協を取り巻く直近の情勢についての情報共有に努めています。





# 歴代役員名簿

## 第1期

(平成8年4月～9年5月)

役職名	氏名
代表理事組合長	平野政利
代表理事副組合長	原田保司
代表理事副組合長	北野利夫
代表理事副組合長	山畑宗一郎
代表理事副組合長	小岩井喜和雄
代表理事副組合長	細田義夫
代表理事副組合長	大河戸昭夫
代表理事副組合長	吉澤伊平
代表理事副組合長	小久保一男
代表理事副組合長	池畑村松
代表理事副組合長	中山田紀
代表理事専務	三上厚一
代表理事専務	横金子眞義
代表理事専務	小島崎源一
代表理事専務	島谷昭平
代表理事専務	池谷川平治
代表理事専務	矢澤伊佐夫
代表理事専務	田口博行
代表理事専務	塩野賢一
代表理事専務	宇津田英一
代表理事専務	江上孝平
代表理事専務	根岸新太郎
代表理事専務	島田田忠一
代表理事専務	岡田初男
代表理事専務	野口昭一
代表理事専務	大河内街
代表理事専務	野口文次郎
代表理事専務	小泉釜太郎
代表理事専務	神藤聡一郎
代表理事専務	田中與平
代表理事専務	瀧島橋一
代表理事専務	高橋勇作
代表理事専務	新井美治
代表理事専務	石川倉安
代表理事専務	石原次茂
代表理事専務	宇津川長治郎

役職名	氏名
理事	水村雅美
理事	石井正美
理事	小野澤康男
理事	橋本弥征
理事	関口多希二
理事	荒幡寛俊
理事	岩田保二
理事	鈴木邦清
理事	新井富雄
理事	宮根富太郎
理事	帯津永太郎
理事	宮下朝吉
理事	鹿倉利基
理事	小澤稔夫
理事	小平良一
理事	筋野國良
理事	福岡福代次
理事	栗原政治
理事	加畑善造
理事	西村善男
理事	大野千代治
理事	服部新壽司
理事	時田室嘉兵衛
理事	大室万吉
理事	飯島利二
理事	武田隆實
理事	竹内昇
理事	發知道男
理事	田中政次
理事	細田政和
理事	原田貞夫
理事	内田貞夫
理事	小室洋壽夫
理事	神木澤政久
理事	三島信夫
理事	武田信夫
理事	船津貞夫
理事	江原源

役職名	氏名
理事	細田利男
理事	正木健次
理事	石井正男
理事	中島芳男
理事	砂川凱夫
理事	吉原平作
理事	山田友昭
理事	内野耕一作
理事	寺沢賢一
理事	宮岡一治
理事	高山節博
理事	馬場芳章
理事	横田一治
理事	鈴木清一
理事	近藤清一
理事	石川秀夫
理事	金子俊治
理事	西澤清吉
理事	大野勇治
理事	杉田喜久一
理事	福島隣一
理事	福西島治一
理事	小嶋泰彦
理事	豊泉佐平
理事	齋藤治長
理事	山岸平忠
理事	市川滋男
理事	田中男
理事	木村雄
理事	北橋寛
理事	沼崎松雄
理事	岩田辰治
理事	宮本重信
理事	宮林大次郎
理事	内海誠仁
理事	鎌田仁平
理事	渡辺義澄
理事	小澤健一
理事	佐野健一郎
理事	沼崎一郎
理事	新井保男
理事	高橋伊夫
理事	新井精樹
理事	内田博
理事	水岡久夫
理事	唐田正和
理事	沼崎和雄
理事	小川勝男
理事	宮岡雄
理事	植松勝
理事	本喜一郎
理事	鎌田義平
理事	小峰福樹
理事	荒井利二
理事	岩淵正長
理事	小島庄太郎
理事	加藤正勝
理事	荻野一郎
理事	尾島隆二
理事	岡安芳雄
理事	齋藤忠夫
理事	根岸政一
理事	長谷川勝一
理事	松本康

役職名	氏名
理事	綿貫小八
理事	廣澤市太郎
理事	松本川和男
理事	石川敏三
理事	小島敏輝
理事	栗原武夫
理事	小川萬次郎
理事	小奥川薫
理事	齋藤博男
理事	中嶋茂
理事	石上太郎
理事	村松好雄
理事	高川宏夫
理事	小内野弘
理事	新井光
理事	瀧井まさ子
理事	近藤正一
理事	北村信夫
理事	水村和夫
理事	柴崎清孝
理事	山崎満昭
理事	齊藤一郎
理事	栗原弘一
理事	下田博
理事	波田勇雄
理事	小波好一
理事	渡邊五十男
理事	上村勇
理事	宮寺昭司
理事	伊藤義一
理事	小川光明
理事	豊田正雄
理事	山口陽太郎
理事	奥富尚衛
理事	萩久島守夫
理事	吉野安晴
理事	島田桂一
理事	福田隆義
理事	山田武治
理事	福田明治
理事	島田晴雄
理事	島田村俊
理事	木村隆
理事	新井愛二
理事	横手安太郎
理事	佐島清
理事	松竹昭五
理事	犬田好夫
理事	和岡本
理事	岡本久
理事	小久保博志
理事	石井幸男
理事	井上征利
理事	関隆眞
理事	加藤常次
理事	佐藤昭雄
理事	天滝祐治
理事	金田直一
理事	滝田正芳
理事	細田一



第1期:代表理事組合長  
(平成8年4月～9年5月)

平野 政利

## 第2期

(平成9年5月～11年6月)

役職名	氏名
理事	谷口 敬一
理事	高野 幸康
理事	大河原 重二朗
理事	岩澤 太榮
理事	野本 榮治
理事	大久保 勇
理事	吉田 裕美司
理事	原 知保
理事	島田 一雄
理事	山崎 一雄
理事	中須里 重治
理事	須嶋 田洋一郎
理事	嶋田 要助
理事	柏崎 要助
理事	町田 貞夫
理事	吉澤 守男
理事	石小 森信一
理事	小島 健一
理事	町田 祐司
代表監事	新高野 幸一郎
監事	高沢 茂一郎
監事	久下 榮一
監事	雪平 幸男
監事	森田 勝義
監事	山田 下正芳
監事	山田 正五郎
監事	野村 宗五郎
監事	加川 藤恒夫
監事	西野 恒二
監事	西島 要壽
監事	本田 英昭
監事	野口 高一郎
監事	宮寺 上喜芳
監事	池田 利義明
監事	小峰 松治
監事	鈴木 勇次
監事	齋藤 丑五郎
監事	齋藤 市三郎
監事	野口 正三男
監事	西久保 忠雄
監事	川口 幸俊
監事	大野 政五郎
監事	野口 憲太郎
監事	浅見 辰夫
監事	奥富 喜康
監事	岩下 繁明
監事	長田 九九
監事	吉田 和重
監事	小林 順彰
監事	岡田 定治
監事	宇津木 和一
監事	板倉 隆平
監事	川鍋 山博
監事	秋山 泉信
監事	大奥 直安
監事	萩原 義雄
監事	高野 井美
監事	石橋 達三
監事	本山 本忠
監事	山本 清義
監事	大川戸 宗清
監事	内沼 茂雄
監事	加藤 次男
監事	森 泰

役職名	氏名
代表理事会長	平野 政利
代表理事組合長	小岩井 喜和雄
代表理事副組合長	大河戸 昭夫
代表理事専務	山田 紀一
地区代表理事	小澤 稔夫
地区代表理事	三上 厚治
地区代表理事	池谷 俊治
地区代表理事	市川 俊松
地区代表理事	池田 一雄
地区代表理事	中村 壽一
理事	塩野 賢一
理事	野口 昭平
理事	渡谷 一平
理事	田中 與平
理事	柳川 長治郎
理事	荒幡 寛俊
理事	帯津 永太郎
理事	福岡 福次郎
理事	竹内 實
理事	原田 保司
理事	三澤 政夫
理事	島田 喜久雄
理事	砂川 凱夫
理事	内野 耕作
理事	西澤 清治
理事	福島 隣一
理事	岩田 清孝
理事	鈴木 章一
理事	横田 眞一
理事	高崎 和雄
理事	沼橋 伊夫
理事	宮岡 宏太郎
理事	岩下 明男
理事	根岸 政義
理事	綿貫 義孝
理事	石川 為三郎
理事	松本 和男
理事	吉澤 伊平
理事	秋山 博昭
理事	小久保 一男
理事	北野 利夫
理事	松本 清
理事	大川戸 清美
理事	吉田 裕美
理事	浅見 精一
理事	小川 文雄
理事	柏崎 要助
理事	大河原 重
理事	大久保 二勇
理事	嶋田 豊治
理事	原田 英正
理事	横田 山吉
理事	有山 英栄
理事	栗原 栄一
理事	齋藤 寛三
代表監事	高野 幸吉
常勤監事	大谷 久夫
監事	加藤 恒夫
監事	雪平 幸男
監事	森田 勝義
監事	新井 精一
監事	山下 芳雄
監事	山平 野俊
監事	内沼 茂雄
監事	小林 明

平成10年6月～11年6月

## 第3期

(平成11年6月～14年6月)

役職名	氏名
代表理事会長	平野 政利
代表理事組合長	山田 紀一
代表理事副組合長	横田 正志
代表理事専務	山川 征一
常務理事	柳田 功平
常務理事	島村 浩勝
常務理事	奈良 政勝
地区代表理事	小澤 稔夫
地区代表理事	砂川 凱夫
地区代表理事	池谷 俊治
地区代表理事	市川 一男
地区代表理事	小川 文雄
地区代表理事	細野 邦彦
理事	西島 保雄
理事	三上 喜久藏
理事	大河内 裕之
理事	三上 弘
理事	柳川 長治郎
理事	荒幡 寛俊
理事	府川 又七郎
理事	須賀 庄次郎
理事	竹内 實
理事	原栂 保司
理事	田沼 正作
理事	島田 喜久雄
理事	田中 堅一
理事	西澤 清治
理事	福島 隣一
理事	岩田 清孝
理事	齋藤 武久
理事	横田 芳夫
理事	大野 清
理事	宮本 重信
理事	高橋 伊夫
理事	宮岡 宏太郎
理事	岩田 勇
理事	大河戸 昭夫
理事	根岸 政治

役職名	氏名
理事	綿貫 義孝
理事	石川 為三郎
理事	吉澤 伊平
理事	秋山 博昭
理事	村田 博
理事	山口 正雄
理事	北野 利夫
理事	山本 忠義
理事	大川戸 清
理事	吉田 裕美
理事	栗原 知司
理事	浅見 精一
理事	堀田 重雄
理事	山川 征一
理事	中村 興夫
理事	嶋田 豊
理事	天田 好文
理事	越阪部 教
理事	小高 儀三郎
理事	町田 健
理事	肥田野 豊
理事	平井 喜代志
代表監事	山下 一芳
代表監事	加藤 恒夫
常勤監事	杉田 善一
監事	加藤 恒夫
監事	雪平 幸男
監事	森田 勝義
監事	牛窪 徳一
監事	浅見 榮男
監事	小澤 和夫
監事	平野 俊雄
監事	山田 孝一
監事	小林 明

※JA所沢市との合併に伴い平成13年4月から増員



第2期：代表理事組合長  
(平成9年5月～11年6月)

小岩井 喜和雄



第3期：代表理事組合長  
(平成11年6月～14年6月)

山田 紀一



# 歴代役員名簿

## 第4期

(平成14年6月～17年6月)

役職名	氏名
代表理事組合長 平成14年6月～15年7月	横田 正志
代表理事組合長 平成15年7月～17年6月	市川 俊一
代表理事副組合長 平成14年6月～15年6月	市川 俊一
代表理事副組合長 平成15年7月～17年6月	細野 邦彦
専務理事	宮寺 聖治
常務理事	落合 和雄
常務理事	村田 肇
常務理事	町田 修
地域統括理事 平成14年6月～15年6月	小澤 稔夫
地域統括理事 平成15年7月～17年6月	平野 俊雄
地域統括理事	島田 喜久雄
地域統括理事 平成14年6月～16年12月	池谷 治
地域統括理事 平成14年6月～15年6月	横田 広太郎
地域統括理事	宮本 重信
地域統括理事 平成14年6月～15年11月	松本 和男
地域統括理事 平成15年12月～17年6月	綿貫 義孝
地域統括理事	小川 文雄
地域統括理事	天田 好文
理事	西島 保雄
理事	三上 喜久藏
理事	大河内 裕之
理事	小峯 一男
理事	宇津木 茂
理事	柳川 長治郎
理事	小ノ澤 崇
理事 平成14年6月～15年6月	平野 俊雄
理事	府川 又七
理事	須賀 庄次郎
理事	竹内 實
理事	吉野 悟作
理事	柿沼 正作
理事 平成15年11月～17年6月	桑原 福治
理事	砂川 凱夫
理事	増田 太郎
理事	山本 宗一
理事	福島 隣
理事	富田 稔
理事	齋藤 武久



第4期:代表理事組合長  
(平成14年6月～15年7月)

横田 正志

役職名	氏名
理事 平成14年6月～16年1月	西久保 忠雄
理事 平成16年6月～16年12月	横田 広太郎
理事	横田 洋志
理事	古谷 福二
理事	宮岡 宏太郎
理事	片岡 成昭
理事	齋藤 博治
理事	根岸 政治
理事 平成14年6月～15年11月	綿貫 義孝
理事	山田 孝一
理事 平成16年6月～17年6月	亀田 康好
理事	吉澤 伊平
理事	波田 二三雄
理事	村田 博
理事	酒本 幸一
理事	安藤 正己
理事	山本 忠義
理事	大川戸 清
理事	栗田 祐美
理事	吉原 知司
理事	浅見 精一
理事	堀田 重雄
理事	須田 洋一郎
理事	中村 興夫
理事	松下 光男
理事	越阪部 教
理事	小高 儀三郎
理事	町田 健
理事	肥田野 豊
理事	新井 基市
理事	小川 茂男
代表監事	雪平 幸彦
常勤監事	横手 勝義
監事	森田 勝徳
監事	牛窪 徳一
監事	小澤 和夫
監事	水村 治一
監事	吉崎 一行
監事	伊藤 邦夫
監事	杉田 善一
監事	西関 昭輝
監事	関 善男



第4期:代表理事組合長  
(平成15年7月～17年6月)

市川 俊一

## 第5期

(平成17年6月～18年6月)

役職名	氏名
会長理事	市川 俊一
代表理事組合長	細野 邦彦
代表理事副組合長	小澤 稔夫
代表理事専務	横田 広太郎
常務理事	原田 晴男
常務理事	町田 修
常務理事	落合 和雄
常務理事	村田 肇
常務理事	田中 繁男
地域理事代表	須賀 庄次郎
地域理事代表	柿沼 正作
地域理事代表	福島 隣一
地域理事代表 平成17年6月～17年9月	宮本 重信
地域理事代表 平成17年10月～18年6月	宮岡 宏太郎
地域理事代表	綿貫 義孝
地域理事代表	小川 文雄
地域理事代表	小高 儀三郎
理事	山田 英夫
理事	岡田 茂
理事	大河内 裕之
理事	小峯 一男
理事	田畑 治夫
理事	柳川 長治郎
理事	小ノ澤 崇
理事	岡部 昭十郎
理事	府川 又七
理事	伊藤 榮一
理事	内田 貞夫
理事	武田 信太郎
理事	桑原 福治
理事	新井 定男
理事	増田 太郎
理事	繁田 收作
理事	富田 稔
理事	齋藤 武久
理事	上原 健一
理事	小川 昌治



第5期:代表理事組合長  
(平成17年6月～18年6月)

細野 邦彦

役職名	氏名
理事	古谷 福二
理事 平成17年6月～17年9月	宮岡 宏太郎
理事	松本 憲博
理事	齋藤 博
理事	高達 直秀
理事	加藤 正勝
理事	亀田 康好
理事	伊藤 邦夫
理事	波田 二三雄
理事	酒本 幸一
理事	安藤 正己
理事	伊藤 辰美
理事	井上 利孝
理事	大野 慎一
理事	浅見 精一
理事	木崎 善吉
理事	橋本 谷博
理事 平成17年6月～17年11月	松下 光男
理事	天田 好文
理事	越阪部 教
理事	町田 健
理事	肥田野 豊
理事	水村 作一郎
代表監事	雪平 幸男
常勤監事	岩澤 基之
監事	森田 勝義
監事	水村 治雄
監事	小室 紘一
監事	齋藤 正弘
監事	太田 精一
監事	西関 昭輝
監事	須賀 庄兵
監事	関 善男

## 第6期

(平成18年6月～20年6月)

役職名	氏名
会長	理事 細野 邦彦
代表理事	組合長 小澤 稔夫
代表理事	副組合長 横田 広太郎
代表理事	専務 桑原 福治
常務理事	原田 晴男
常務理事	町田 修
常務理事	落合 和雄
常務理事	村田 肇
常務理事	田中 繁
地域理事	代表 大河内 裕之
地域理事	代表 柿沼 正作
地域理事	代表 福島 隣一
地域理事	代表 宮岡 宏太郎
地域理事	代表 綿貫 義孝
地域理事	代表 齋藤 博
地域理事	代表 安藤 正己
地域理事	代表 小高 儀三郎
理事	小山田 英夫
理事	岡田 茂
理事	小田 一夫
理事	田峯 治
理事	小澤 治
理事	小澤 昭十郎
理事	岡部 昭十郎
理事	伊藤 榮一
理事	内田 貞夫
理事	武田 信太郎
理事	新井 定男
理事	増田 太郎
理事	加藤 博
理事	齋藤 武久
理事	上原 健一
理事	小川 昌治
理事	松本 憲治
理事	浅見 忠
理事	諸口 栄治
理事	齋藤 博

平成18年6月～18年12月

## 第7期

(平成20年6月～23年6月)

役職名	氏名
理事	高 達 直秀
理事	石川 猛
理事	加藤 正勝
理事	亀田 康好
理事	伊藤 邦夫
理事	酒本 幸一
理事	伊藤 辰美
理事	井上 征昭
理事	黒田 博
理事	渋谷 文雄
理事	小川 文雄
理事	木崎 稔吉
理事	橋本 善哲
理事	越阪部 教健
理事	町田 健
理事	村上 作一郎
代表理事	常勤 監事 水雪 平幸
監事	岩澤 基一
監事	小室 紘一
監事	齋藤 正弘
監事	石田 精辰
監事	太田 辰夫
監事	肥田 豊
監事	野田 作
監事	繁田 收
監事	柳 沢 隆

平成19年6月～20年6月

役職名	氏名
会長	理事 細野 邦彦
代表理事	組合長 小澤 稔夫
代表理事	副組合長 小高 儀三郎
代表理事	専務 桑原 福治
常務理事	齊藤 満
常務理事	水村 芳夫
常務理事	山下 義夫
地域理事	代表 大河内 裕之
地域理事	代表 柿沼 正作
地域理事	代表 福島 隣一
地域理事	代表 宮岡 宏太郎
地域理事	代表 齋藤 博
地域理事	代表 越阪部 教
理事	山田 英夫
理事	岡田 茂
理事	有山 鉄男
理事	木清 志
理事	岡田 武司
理事	伊藤 中壽男
理事	藤原 一
理事	原田 晴男
理事	武田 信太郎
理事	新井 定男
理事	増田 太郎
理事	加藤 敏夫
理事	澤田 博
理事	加藤 利治
理事	齊藤 修司
理事	後藤 忠彦
理事	浅見 忠治
理事	諸口 栄治
理事	石川 治
理事	加藤 正勝
理事	亀田 康好
理事	伊藤 邦夫
理事	波田 二三雄

役職名	氏名
理事	酒本 幸一
理事	村田 肇
理事	伊藤 辰美
理事	井上 征昭
理事	黒田 昭雄
理事	関谷 英男
理事	町田 智
理事	須田 明哲
理事	金子 吾
理事	増田 政敏
理事	水村 作一郎
理事(女性)	平成21年6月～23年6月 青木 敏子
理事(女性)	平成21年6月～23年6月 三澤 初美
理事(女性)	平成21年6月～23年6月 細 渕 汎子
理事(女性)	平成21年6月～23年6月 中 田 トシ子
理事(女性)	平成21年6月～23年6月 山 田 ふみ
理事(女性)	平成21年6月～23年6月 内 川 艶子
理事(女性)	平成21年6月～23年6月 諸 星 賀津美
代表 監事	小室 紘一
常勤 監事	田中 繁男
監事	齋藤 正弘
監事	太田 精一
監事	石田 辰夫
監事	繁田 收
監事	池上 作
監事	町田 健
監事	柳 沢 隆



第6・7期：代表理事組合長  
(平成18年6月～23年6月)

小澤 稔夫



# 歴代役員名簿

## 第8期

(平成23年6月～26年6月)

役職名	氏名
代表理事組合長	宮岡 宏太郎
代表理事副組合長	大河内 裕之
代表理事専務	福島 隣一
常務理事	齊藤 満
常務理事	水村 芳夫
常務理事	山下 義夫
地域理事代表	山田 英夫
地域理事代表	柿沼 正作
地域理事代表	加藤 利治
地域理事代表	諸口 栄治
地域理事代表	波田 二三雄
地域理事代表	水村 肇
地域理事代表	水村 作一郎
理事	岡田 茂
理事	有山 鉄男
理事	大木 清志
理事	岡田 武司
理事	田中 壽男
理事	帯津 洋一郎
理事	長岡 孝夫
理事	原田 晴太郎
理事	武田 信太郎
理事	桑原 福治
理事	新井 定男
理事	増田 太郎
理事	加藤 敏夫
理事	岩田 茂
理事	澤田 平司
理事	齋藤 修司
理事	藤正 弘
理事	古藤 谷博
理事	水澤 宏之
理事	石川 猛

役職名	氏名
理事	加藤 正勝
理事	亀田 康好
理事	黒澤 光治
理事	小林 武男
理事	横手 澄男
理事	落合 慎一
理事	宿谷 昌生
理事	関谷 英男
理事	町田 智
理事	小川 浩資
理事	新井 卓利
理事	野沢 幹雄
理事	森田 源
理事	小高 儀三郎
理事	町田 修
理事	鹿島 正之助
理事(女性)	青木 敏子
理事(女性)	三澤 初美
理事(女性)	細 潤 子
理事(女性)	中田 トシ子
理事(女性)	山田 心み
理事(女性)	紫藤 幸子
理事(女性)	諸星 賀津美
代表監事	繁田 收作
常勤監事	吉野 正二
監事	太田 精一
監事	町田 健
監事	伊藤 邦夫
監事	後藤 忠彦
監事	金子 義一
監事	池上 健治
監事	塚本 英樹

## 第9期

(平成26年6月～現在)

役職名	氏名
代表理事組合長	宮岡 宏太郎
代表理事副組合長	山田 英夫
代表理事専務	原田 晴男
常務理事	大澤 道則
常務理事	鹿島 良房
常務理事	吉川 誠
常務理事	竹ノ谷 昭彦
常務理事	吉野 正二
常務理事	秦 隆行
地域理事代表	大木 清志
地域理事代表	桑原 福治
地域理事代表	澤田 平司
地域理事代表	諸口 栄治
地域理事代表	波田 二三雄
地域理事代表	村田 肇
地域理事代表	町田 修
理事	塩野 謙吉
理事	田中 昇
理事	小倉 元司
理事	新井 康夫
理事	田中 壽男
理事	帯津 洋一郎
理事	長岡 孝夫
理事	小室 長司
理事	武田 信太郎
理事	柳下 春良
理事	田中 弥一
理事	中沢 茂樹
理事	福島 隣一
理事	岩田 茂
理事	中島 敏雄
理事	齋藤 修司
理事	久保田 慎一
理事	古谷 博
理事	高橋 光行

役職名	氏名
理事	石川 猛
理事	松本 均
理事	伊藤 邦夫
理事	岩田 博雄
理事	小林 武男
理事	横手 澄男
理事	落合 慎一
理事	関谷 昌生
理事	宿谷 英男
理事	町田 智
理事	石森 義朗
理事	野沢 幹雄
理事	森田 源
理事	若山 芳男
理事	鹿島 正之助
理事	水村 作一郎
理事	石井 敏夫
理事(女性)	青木 敏子
理事(女性)	渋谷 利江
理事(女性)	細 潤 子
理事(女性)	小野田 敏枝
理事(女性)	岡野 とし子
理事(女性)	野口 初江
理事(女性)	諸星 賀津美
代表監事	繁田 收作
常勤監事	吉川 彰
監事	町田 健
監事	後藤 忠彦
監事	金子 義一
監事	森田 清
監事	永瀬 博
監事	亀田 康好
監事	久山 竜治



第8・9期：代表理事組合長  
(平成23年6月～現在)

宮岡 宏太郎



JAいるま野  
各事業データ

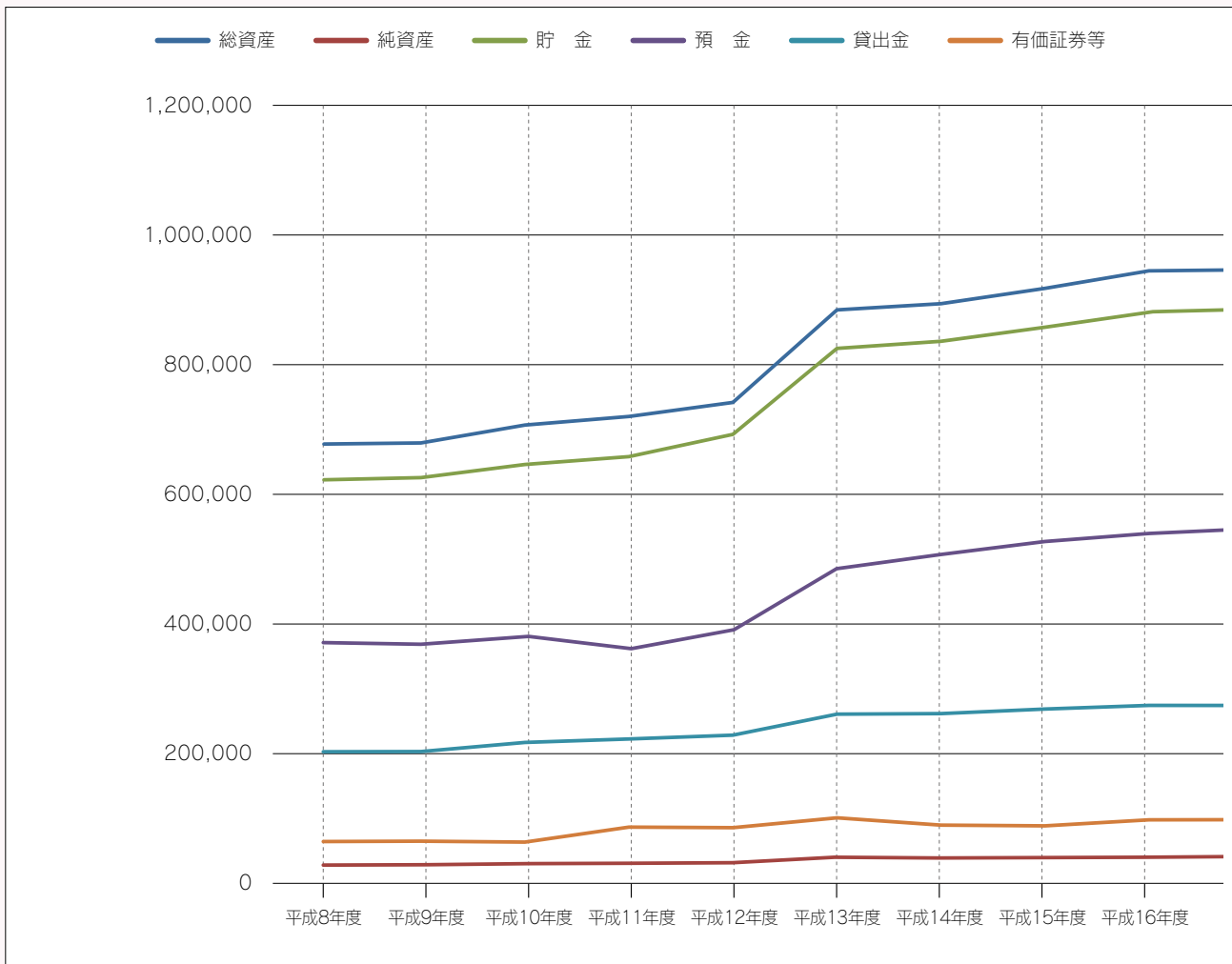
JA IRUMANO 20th anniversary



■主要事業実績の推移

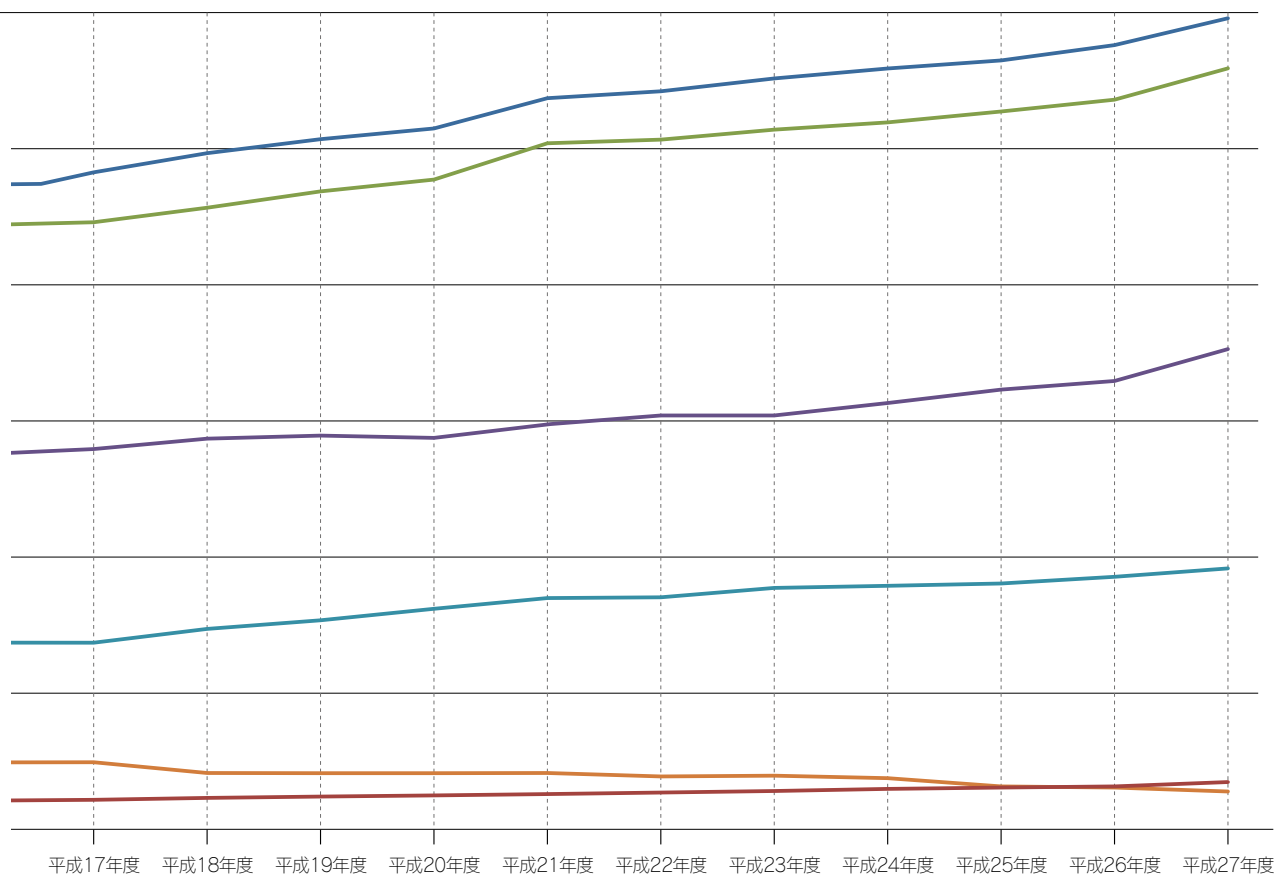
年度（該当年度3月末）		平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
財務	事業利益	2,270	538	955	456	899	475	827	868	2,387
	経常利益	2,183	835	1,223	854	1,160	626	1,097	1,321	2,798
	当期剰余金	1,034	585	79	687	850	479	-524	491	549
	総資産	681,848	683,728	711,204	724,407	746,266	888,924	898,557	922,080	949,162
	純資産	32,644	33,045	34,890	35,423	36,116	44,739	43,437	44,075	44,690
信用事業	貯金	626,716	630,041	650,369	662,668	696,775	829,533	840,382	862,216	886,011
	預金	375,671	373,063	385,211	370,504	398,709	489,662	511,643	531,599	544,170
	貸出金	207,280	207,759	221,688	227,218	233,071	265,491	266,101	273,144	278,911
	有価証券等	69,019	69,363	68,153	91,110	90,278	105,439	94,154	93,140	102,482
	信用貸倒引当金	3,013	3,748	8,119	10,493	12,249	13,979	15,432	16,863	16,293
共済事業	長期共済保有高	2,265,181	2,310,210	2,337,236	2,313,318	2,300,398	2,679,404	2,653,875	2,612,879	2,557,935
購買事業	購買品供給高	10,879	9,891	9,616	8,706	8,031	9,297	9,184	8,488	5,894
	（うち生産資材）	4,510	3,551	3,521	3,412	3,209	3,485	3,373	3,268	3,303
	（うち生活資材）	6,368	6,339	6,094	5,293	4,821	5,811	5,810	5,219	2,590
販売事業	受託品販売高	12,654	12,152	10,116	9,276	8,738	9,796	10,298	9,410	9,352

※総資産および貸出金については、平成21年度より貸付留保金を除いた数値としています。



(単位：百万円)

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
3,108	3,395	3,088	2,866	2,849	3,036	3,384	4,129	3,394	2,828	2,612
3,537	3,627	3,493	3,212	3,295	3,529	3,804	4,639	3,888	2,908	3,026
3,462	3,073	2,801	2,249	2,340	2,849	2,488	3,032	2,888	2,195	2,203
969,633	997,798	1,018,306	1,034,191	1,078,658	1,088,610	1,107,490	1,122,110	1,134,076	1,156,394	1,196,741
47,885	50,564	52,630	54,200	56,211	58,429	60,633	63,706	65,776	67,484	69,165
905,503	929,655	948,821	962,841	1,007,628	1,016,969	1,035,332	1,048,258	1,059,970	1,082,073	1,120,448
557,544	578,471	582,812	579,597	599,884	612,489	612,436	630,655	650,456	663,009	703,542
278,605	298,980	311,522	328,296	344,066	345,425	359,024	362,171	365,500	375,398	388,281
108,133	87,083	86,846	87,009	87,238	82,041	83,251	79,532	67,492	65,738	52,005
12,894	7,489	6,181	6,017	5,998	5,525	5,490	5,109	4,095	3,137	3,127
2,501,231	2,435,580	2,362,651	2,297,136	2,241,999	2,191,100	2,149,507	2,129,585	2,108,363	2,096,722	2,093,873
6,455	6,355	6,523	6,344	6,308	6,404	6,131	6,092	6,745	6,117	6,019
3,255	3,143	3,144	3,291	3,177	3,061	2,971	2,950	3,439	3,106	3,026
3,199	3,212	3,379	3,053	3,130	3,342	3,160	3,142	3,306	3,010	2,993
9,557	9,454	9,835	9,329	9,201	9,775	9,366	9,519	9,933	10,104	10,656



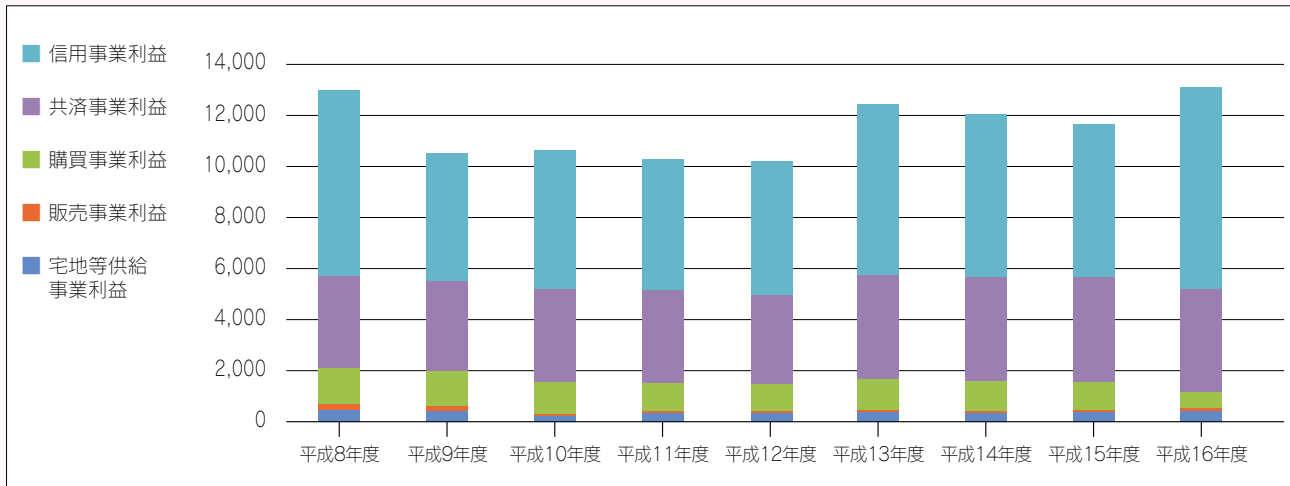


# 資料

／主要な各事業利益の推移／  
 收支構造と配当金の推移

## ■主要な各事業利益の推移

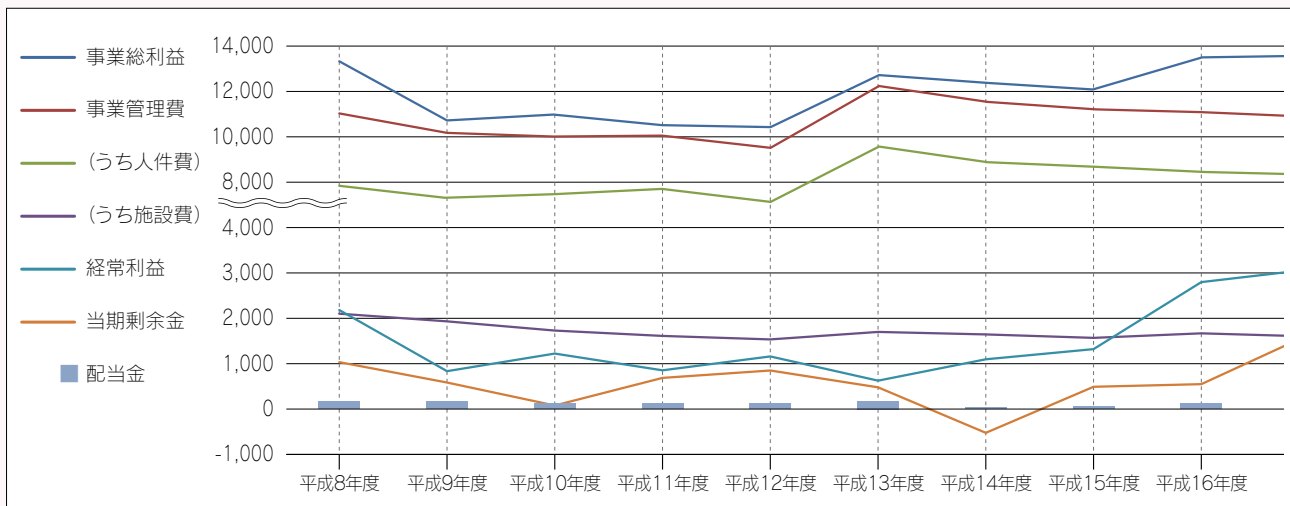
年度（該当年度3月末）	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
信用事業利益	7,291	5,008	5,462	5,166	5,244	6,682	6,388	6,030	7,912
共済事業利益	3,586	3,540	3,622	3,617	3,512	4,082	4,082	4,097	4,025
購買事業利益	1,447	1,350	1,286	1,123	1,034	1,217	1,162	1,089	624
販売事業利益	205	187	77	81	96	78	82	75	110
宅地等供給事業利益	461	425	207	321	323	370	332	388	428



## ■收支構造と配当金の推移

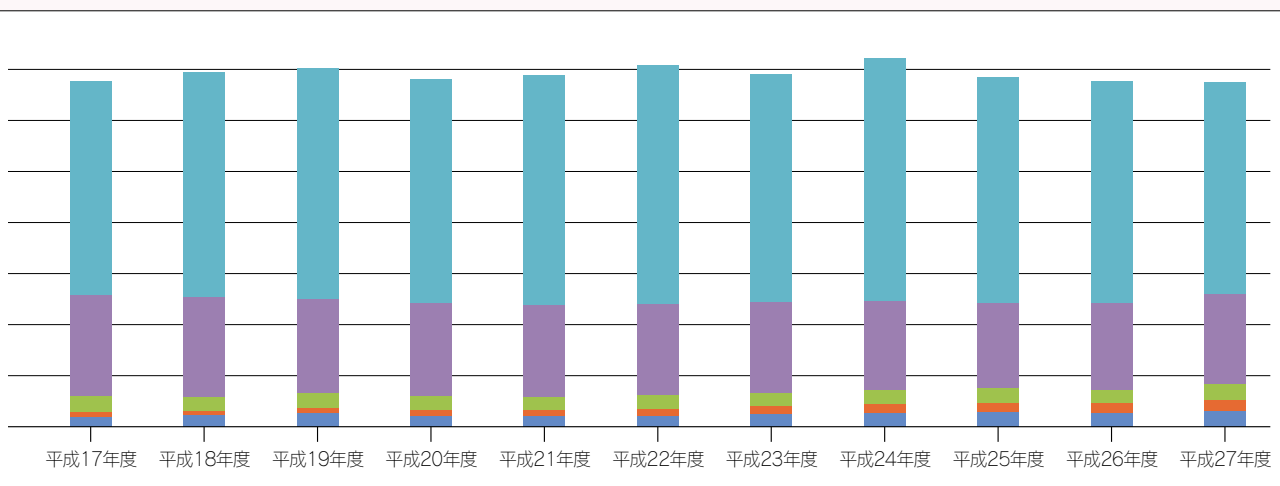
年度（該当年度3月末）	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
事業総利益	13,272	10,693	10,949	10,486	10,402	12,671	12,329	12,043	13,440
事業管理費	11,001	10,155	9,993	10,030	9,502	12,195	11,501	11,174	11,053
（うち人件費）	7,847	7,327	7,479	7,711	7,143	9,556	8,872	8,673	8,446
（うち施設費）	2,102	1,933	1,730	1,612	1,535	1,700	1,645	1,569	1,669
経常利益	2,183	835	1,223	854	1,160	626	1,097	1,321	2,798
当期剰余金	1,034	585	79	687	850	479	-524	491	549
配当金	169	170	127	127	127	178	29	58	117

※配当金については、平成17年度より出資配当に加え事業分量配当を実施しています。



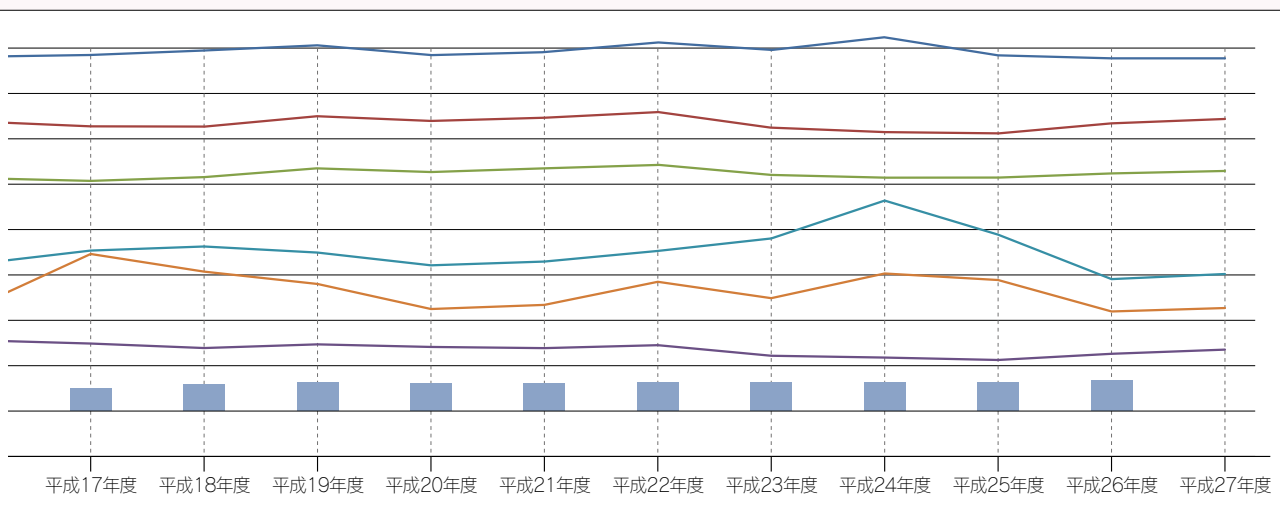
(単位：百万円)

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
8,370	8,804	9,078	8,789	9,020	9,386	8,970	9,537	8,852	8,727	8,339
3,970	3,937	3,670	3,622	3,589	3,540	3,531	3,464	3,338	3,402	3,540
618	531	576	575	535	582	545	542	569	515	590
202	175	194	201	207	247	315	352	359	392	446
365	448	543	425	419	423	477	538	566	518	601



(単位：百万円)

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
13,631	13,908	14,054	13,625	13,750	14,180	13,852	14,404	13,614	13,485	13,445
10,522	10,512	10,966	10,759	10,901	11,144	10,467	10,275	10,220	10,656	10,833
8,149	8,315	8,694	8,535	8,692	8,844	8,409	8,288	8,295	8,475	8,597
1,488	1,389	1,470	1,413	1,387	1,452	1,219	1,179	1,126	1,262	1,313
3,537	3,627	3,493	3,212	3,295	3,529	3,804	4,639	3,888	2,908	3,026
3,462	3,073	2,801	2,249	2,340	2,849	2,488	3,032	2,888	2,195	2,203
489	590	628	614	614	622	632	632	630	668	—

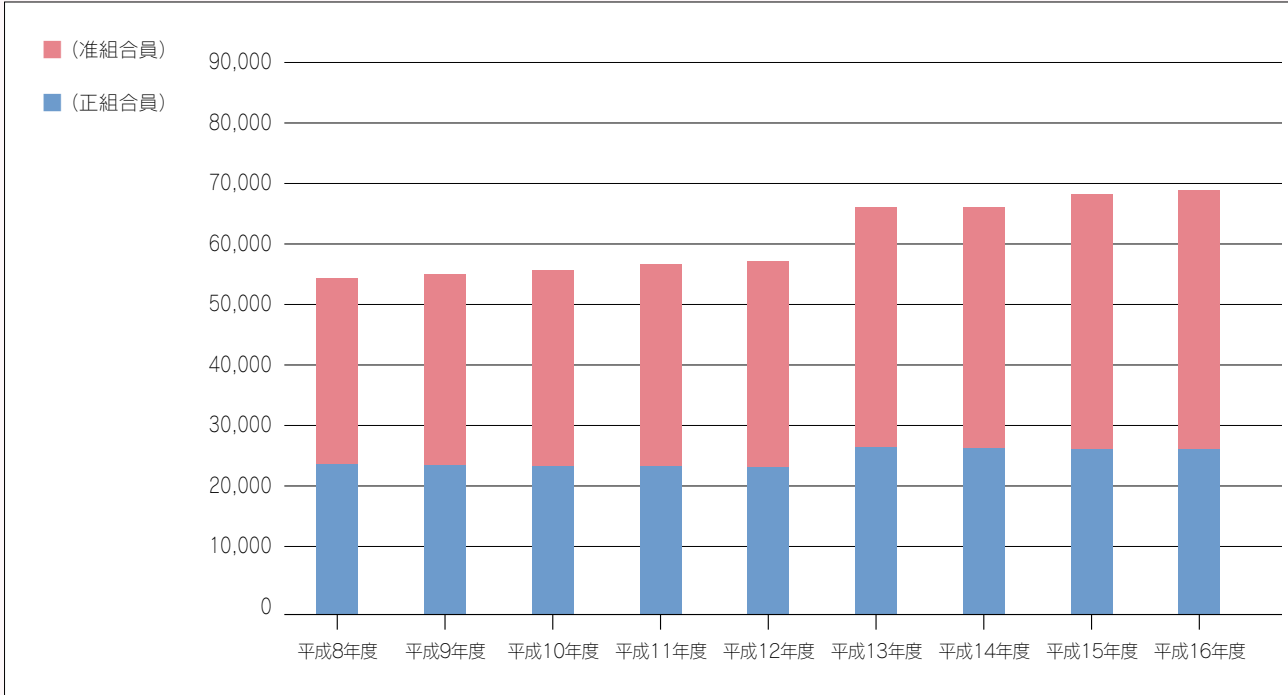


# 資料

／組合員数の推移／理事・監事・職員・支店数の推移

## ■組合員数の推移

年度（該当年度3月末）	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
組合員数（人）	54,780	55,513	56,215	57,016	57,649	66,440	66,493	68,545	69,129
（正組合員）	24,535	24,432	24,304	24,231	24,115	27,394	27,246	27,119	26,945
（准組合員）	30,245	31,081	31,911	32,785	33,534	39,046	39,247	41,426	42,184



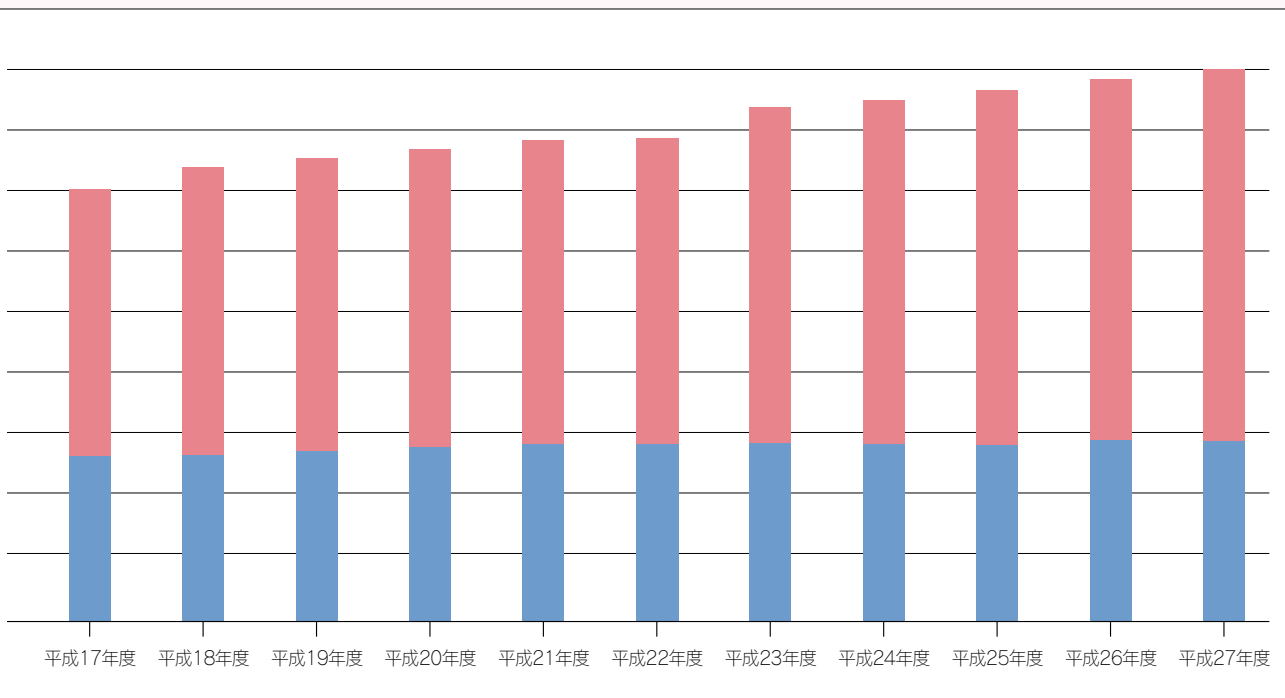
## ■理事・監事・職員・支店数の推移

年度（該当年度3月末）	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理事	233	55	55	53	53	60	62	60	61
（うち常勤）	18	9	9	12	11	12	14	14	14
監事	45	9	10	10	10	10	11	11	11
（うち常勤）	0	0	1	1	1	1	1	1	1
職員	1,235	1,180	1,155	1,155	1,177	1,334	1,310	1,211	1,153
（うち営農指導員）	-	-	62	57	60	61	52	51	57
（うち生活指導員）	-	-	33	21	20	23	15	16	10
（うち准職員）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（うち嘱託職員）	1	1	4	3	5	5	5	5	8
常用的臨時雇用者	210	197	224	259	261	253	235	245	272
支店数	71	70	66	66	62	71	71	68	64

※1) 職員とは正職員・准職員・嘱託職員を言い、派遣職員・パート職員は除きます。（出向者含む）  
 ※2) 常用的臨時雇用者とはパート職員・派遣職員を言います。  
 ※3) 平成25年度より准職員の採用を行っています。



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	70,538	74,094	75,424	76,887	78,557	78,815	83,883	84,906	86,619	88,471	90,038
	27,090	27,296	27,813	28,441	29,012	29,013	29,241	28,958	28,767	29,678	29,365
	43,448	46,798	47,611	48,446	49,545	49,802	54,642	55,948	57,852	58,793	60,673



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	59	51	52	49	56	56	55	55	55	58	58
	8	8	8	6	6	6	6	6	6	9	9
	11	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	1,116	1,105	1,107	1,131	1,148	1,143	1,133	1,107	1,098	1,098	1,131
	56	54	54	56	63	60	72	68	67	68	69
	12	12	12	12	12	11	10	9	9	9	8
	-	-	-	-	-	-	-	-	33	49	95
	8	4	22	38	38	39	47	50	22	33	37
	266	270	273	275	275	278	308	311	340	374	331
	63	61	57	57	56	56	56	56	56	56	55

# Column③

JA IRUMANO 20th anniversary



© torezou

## オリジナルキャラクター 「とれ蔵」が JAいるま野の魅力を発信中!

出荷段ボールや  
野菜のポスターに登場

「とれ蔵」は農家の方たちをイメージして作成しました。

おかあさん、おとうさん、子どもたちに末永く愛してもらうことはもちろん、常日頃からおいしい農産物を生産している農家の応援団としても活躍してほしい。とれ蔵はそんな想いから生まれました。



「とれ蔵」がJAいるま野の魅力を発信中!



大盆踊り大会でお披露目



農業祭に参加

合併20周年記念事業として誕生した  
とれ蔵はJAと地域、消費者を  
つなぐ架け橋をめざします!



© torezou



職員手作り「とれ蔵」かかし



管内のキャラクターまつりに参加



量販店で  
いるま野野菜をPR

### 「とれ蔵」プロフィール

名	前	いるま野 とれ蔵
愛称		とれ蔵
年齢		40歳 (団塊Jr.世代)
身長		160cm
体重		60kg
とくいわざ		おいしい農畜産物をつくる
性格		まじめ
趣味		ダンス
好きな食べ物		えだまめ
家族構成		奥さん・娘・息子

オリジナルソング「おやおや おやさい」の動画がホームページで公開されています。どうぞご視聴ください。

動画URL : <https://youtu.be/6q4xVmHq3Bk>



オリジナルソング  
『おやおや おやさい』

## JAいるま野合併20周年記念誌

地域と歩んだ20年 豊かな未来を育てます

発行/いるま野農業協同組合  
〒350-1105 埼玉県川越市今成2-29-4  
TEL.049-224-1607(代) FAX.049-224-1617  
<http://www.ja-irumano.or.jp>  
編集/総合企画部 企画課  
発行年月日/平成28年5月  
印刷/たつみ印刷株式会社

地域と歩んだ20年

豊かな未来を育てます



## いるま野 農業協同組合

〒350-1105 埼玉県川越市今成2-29-4  
TEL.049-224-1607(代) FAX.049-224-1617  
<http://www.ja-irumano.or.jp>



環境に配慮して再生紙を使用しています。



©torozou